

2004年度
講義計画

桃山学院大学

講義計画

第100回

結義信面

第100回

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ文化論 (旧ヨーロッパ文化研究－ドイツ文化)		秋学期集中	4 単位	高田里恵子
〔講義概要・学習目標〕 この講義では、1871年のドイツ帝国成立から、1945年のナチス・ドイツの崩壊までの歴史を扱う。その際、導きの手として、学校制度・教育思想の変遷を取りあげたい。 今回は、この時期に書かれたいくつかの学校小説と戦争小説を考察する。上級学校（寄宿舎）と軍隊という「男の園」のなかの権力関係が、分析の中心となるだろう。	〔講義計画〕 1. 学校制度と思春期の「発明」 2. 世紀転換期におけるヨーロッパ的男性性のゆらぎ 3. 学校と全体主義 寄宿舎のポリティクス 対等でない男性間の関係性 4. 高等教育と軍隊 『ドイツ戦歿学生の手紙』と『きけ わだつみのこえ』を比較する			
〔成績評価の方法〕 最後に期末試験を行なう。また状況によっては、理解度を見るために、レポートか小テストを課すこともありうる。試験やレポートでは、この授業で話されたことが理解できているかどうかを問う課題を提出するので、たんなる参考書や文献の引き写しは通用しない。	〔参考文献〕 1. 野田宣雄『ドイツ教養市民層の歴史』（講談社学術文庫） 2. ジョージ・モッセ『英霊 創られた世界大戦の記憶』（柏書房） 3. ウォルター・ラカー『ドイツ青年運動 ワンダー・フォーゲルからナチズムへ』（人文書院） 4. イヴ・セジウィック『男同士の絆 イギリス文学とホモソーシャルな欲望』（名古屋大学出版会）			
〔教科書〕 教科書は使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経営学特講（国際ビジネスと企業経営） (旧 経営・商学特講（国際ビジネスと企業経営）)		秋学期	2 単位	中 井 壽
〔講義概要・学習目標〕 経営学特講では、「国際ビジネスと企業経営」という視点から、多国籍企業の世界市場における経営戦略と活動について、現実の実践事例を取り上げながら講義を進める。	〔講義計画〕 1. 国際ビジネスと環境 2. 地域経済圏の形成と国際ビジネス戦略 3. 世界市場と国際ビジネス 世界をつなぐネットワーク経営／中国市場と企業経営 アセアン市場と企業経営 4. 国際ビジネスとブランド戦略 5. 国際ビジネスと企業の社会的責任			
〔成績評価の方法〕 期末試験で評価	〔参考文献〕			
〔教科書〕 適時プリン資料を配布				

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
経営学特講（日本企業のグローバル戦略） 経済学特講（日本企業のグローバル戦略）〈02・03生対象〉 （旧経営・商学特講（日本企業のグローバル戦略））		秋学期	2単位	鈴木 幾多郎
〔講義概要・学習目標〕 これからの企業経営にとって，“国際化”は最重要課題である。では，経営の国際化とは一体何なのか。どのような視点をもって，どのように行動すれば国際的なのか。このような問題を解いていくことがこの講義の目標である。 テーマは「Global Enterprise of Japan」（予定）である。具体的には，グローバルビジネスの実態，グローバル企業の必要条件，世界の文化とビジネスとの関係，などについて，商社の企業人の方々に講義してもらう。 そして，この講義の特徴はすべて英語でおこなわれることである。講義を英語で聴くことによって，国際感覚と語学力を身につけるようにする。	〔講義計画〕 以下に，第1回から12回までの講義のテーマ（予定）を示す。 1. Doing Business across Cultures 2. The Role and Functions of “Sogo-Shosha” 3. The Importance of Japan on International Trade 4. Better Understanding of The Middle East and Islam 5. Risk Management 6. Textile Business in HongKong 7. Foreign Investment in China 8. Textile Joint Venture Business in China 9. The Transaction of Export by Small Manufacturers 10. FDI Will Activate Osaka Economy 11. What Makes Up a Successful Businessperson 12. The Changing Role of Trading House			
〔成績評価の方法〕 出席状況，レポート，テストなど総合的に評価する。	〔参考文献〕 必要な場合，追って指示する。			
〔教科書〕 特に指定しない。				

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
経営学特講（企業情報の開示と税制；日本） 経済学特講（企業情報の開示と税制；日本）〈02・03生対象〉 （Corporate Disclosures and Taxation in Japan） （旧 会計学特講（企業情報の開示と税制；日本））		秋学期	2単位	中 村 恒 彦
〔講義概要・学習目標〕 本講義は，受講者の皆さんが外国人の皆さんに日本の会計システムを英語で説明できることを目的に開講されています。講義を担当するのは，国際業務に携わってきた公認会計士の皆さんです。国際業務に携わってきた公認会計士の皆さんがどのように英語で日本の会計システムをどのように解説されるかを体験してほしいと思います。	〔講義計画〕 1. Accounting and Auditing Practices in Japan Introduction 2. Accounting Practices in Japan Japanese GAAP (1) 3. Accounting Practices in Japan Japanese GAAP (2) 4. Accounting Practices in Japan Japanese GAAP (3) 5. Reporting under the Japanese Commercial Code 6. Reporting under the Securities and Exchange Law in Japan 7. Semi-annual Financial Statements 8. Consolidated Financial Statements 9. History of Auditing Practice in Japan 10. Audit Standards and Practices in Japan 11. Tax system in Japan 12. Corporate Income Taxation in Japan			
〔成績評価の方法〕 レポートと出席状況を勘案して評価する。	〔参考文献〕 講義中に適宜指示する。			
〔教科書〕 特に指定しない				

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
経営学特講（ビジネスと文化） 経済学特講（ビジネスと文化）〈02・03年度〉 （旧 経営・商学特講（ビジネスと文化））		春学期	2 単位	三 宅 亨
〔講義概要・学習目標〕 With the coming of the new century, the world is changing more rapidly than ever. Steadily advancing IT revolution is changing our society, industry and lifestyle. In addition, ongoing globalization requires communication and cooperation across cultures among other things. In this class a wide range of interesting topics will be taken up for those who aspire to be <i>citizens of the world</i> . The class will be taught by different faculty members each week, and conducted <i>entirely in English</i> . Students are encouraged to participate in lively discussions.	〔講義計画〕 Tentative List of Topics to Be Presented 1. Globalization and English 2. Japanese Agriculture 3. Deregulation of Economy & Corporate Restructuring in Japan 4. Japanese Retailing Industry 5. Steel Industry in Japan and the World 6. Insurance Business in Japan 7. Japanese Culture and Communication 8. Different Cultures The final list will be distributed at the beginning of the spring semester.			
〔成績評価の方法〕 Strict attendance is required. In place of the final examination, the students are asked to submit papers on several topics presented during the course.	〔参考文献〕 To be announced in class.			
〔教科書〕 No textbooks are used in this course. Instead, handouts will be provided in class.				

経
営
02～

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
経営学特講（英文簿記会計） 経済学特講（英文簿記会計）〈02・03年度〉 （Bookkeeping and Accounting in English） （旧 会計学特講（英文簿記会計））		春学期	2単位	中 村 恒 彦
〔講義概要・学習目標〕 本講義は、BATIC(国際会計検定)試験に焦点をあわせて、受講者の皆さんの国際ビジネス能力を向上させることを目的に開講されています。講義を担当するのは、国際業務に携わってきた公認会計士の皆さんです。毎時間、講義50分、演習20分、解説10分、質疑応答10分を標準として進める予定です。簿記についてのある程度の事前知識が必要ありますので、商業簿記の単位修得ないし日商簿記検定3級合格を履修条件としています。国際ビジネスに関心ある学生は、本講義とあいまって、経営学特講(企業情報の開示と税制: 日本)を受講することをお勧めします。	〔講義計画〕 1. Basic Concept of Bookkeeping Business Transaction 2. The Accounting Cycle and Controlling System, Accounting Structure, Recording Financial Transaction 3. Adjusting and Closing Entries, Preparation of the Worksheet, Financial Statements 4. Financial Accounting and Reporting, Financial Statements 5. Cash, Account Receivable 6. Inventories, Property, Plant and Equipment 7. Intangible Assets, Investments 8. Liabilities, Stockholder's Equity 9. Translation of Foreign Currency Statements, Statement of Cash Flows 10. Business Combinations 11. Interim Financial reporting and Segment Information, Accounting Change and Correction Errors, Time Value of Money			
〔成績評価の方法〕 学期末テストの成績と出席状況を勘案して評価する。	〔参考文献〕 講義中に適宜指示する			
〔教科書〕 BATIC公式テキスト 『Subject 1』 『Subject 2』				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経営学特講（パソコンによる経理） （旧会計学特講（パソコンによる経理））	01 02	秋 学 期 秋 学 期	2単位 2単位	安 井 一 浩
〔講義概要・学習目標〕 経理用ソフト「弥生会計」を使用してパソコンによる経理実務を学習しますが、現実の会社経理には欠かせない消費税等の課税かどうかの判断、ソフト設定を含めて説明します。 また日常的な経理実務に加え表計算ソフトによる固定資産の減価償却、有価証券の評価換え、引当金の計上、法人税の処理、財務諸表の作成など決算実務ができるようになることを目標とします。 なおこの講義は春学期のコンピュータ会計を履修したことを前提として進めます。	〔講義計画〕 経理用パソコンソフトによる消費税等の処理を含む日常業務に必要な知識を説明したあと、表計算ソフトの活用方法を説明します。続いて各種税金の処理及び決算特有の処理、決算書の作成に関する事項を説明します。なお講義は例題を使った演習を中心に進める予定です。			
〔成績評価の方法〕 出席回数、講義中の演習及び考査を総合的に考慮して評価します。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 「弥生会計」の操作マニュアル まなびの入門会計学（中央経済社） 中田 信正編著／徐 龍達編著／小誌 哲夫編著 ISBN:4-502-18810-7				

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
経営学特講（国際リスクマネジメント） 経済学特講（国際リスクマネジメント）〈02対象〉 （旧 経営・商学特講）（国際リスクマネジメント）		春学期	2単位	武 田 久 義
〔講義概要・学習目標〕 国際化に伴い国際ビジネスに関する知識がますます必要になってきている。そして、現在および将来の社会においては、リスクが一層増大することが明らかになりつつある。このような状況のなかで、国際ビジネスに関連するリスクをトータルに把握し、それへの対応を行うことは必然的に重要なものとなる。そのためには、これらに関連する知識も当然のことながら不可欠となっている。 この講義は、国際ビジネスにおけるリスクマネジメントについて、広い視野に立って学ぶことを目標としている。それも、できるだけ実践的な経験をふまえた知識について講義することを基本としている。この講義はインテグレーション形式で行われるが、それぞれの講師は国際ビジネスの実務に長年携わった経験を有している。その経験に基づいて、一面では国際ビジネスにおける人事・為替・保険・投資等の活動におけるリスクやそのマネジメントについて、そしてまた、日本と深い関係を持つ地域や国々等を勘案しつつ、幅広い観点から国際ビジネスにおける諸問題について講義する予定である。	〔講義計画〕 (1) 国際ビジネスとリスクマネジメント (2) カントリーリスク (3) ファイナンシャルリスク (4) オペレーションリスク (5) 海外における企業経営に関するリスク (6) 中国 (7) アセアン (8) オーストラリア (9) イスラム諸国 (10) ヨーロッパ (11) ラテンアメリカ (12) アメリカ			
〔成績評価の方法〕 レポートによる。	〔参考文献〕 随時指示する。			
〔教科書〕 プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経営学特講（企業人に学ぶ） 経済学特講（企業人に学ぶ）		集中コース	2単位	武田 久義
〔講義概要・学習目標〕 この講義は、諸君の中に眠っているかもしれない能力やパワーに諸君が自ら気づき、力を発揮してもらうことを第一の目的としている。主な講義内容は、①企業の実態について学ぶこと、②働くことについて具体的なイメージを描くこと、③職場における問題の発見とそれへの対処についてまなぶこと、④企業の方と上手なコミュニケーションをとること等である。講師は、現在会社で重要な働きをしている本学のOBを中心とし、受講資格は3回生に限定している。授業は小人数で行われ、業界や企業に関する知識や話題提供のほか、課題作成、グループディスカッション等を中心にすすめられる。また、講師との自由な対話も予定している。 講義は、原則的に土曜日の午後に、5回実施する予定である。したがって1回の授業は、通常の3回分を行う。この講義は、真剣に自らの将来について考え、やる気をもって進んでいく学生のみを対象とする。したがって、事前の説明会を行うほか、作文や面接等の事前の選抜を行う場合もある。	〔講義計画〕 (1) 授業は合計5回実施。 ①第1回・・・6月始め頃。 ②第2～5回・・・10月から1月の間。 (2) 実施曜日および時間：土曜日の13時20分～18時10分。 (3) 事前説明会。 ①5月末頃に実施。そこで、日程・講師等を確定。 (4) 事前審査。 ①6月中頃。レポートや面接等を行うこともある。			
〔成績評価の方法〕 出席、受講態度、レポート等を総合的に判断する。	〔参考文献〕 随時指示する。			
〔教科書〕 プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経営学特別講義（日本の金融業界の概要） （旧経営学特講（日本の金融業界の概要））		秋学期	2単位	深谷 清之
〔講義概要・学習目標〕 1. Abstract of the lecture This lecture gives students the abstract knowledge on financial industry in Japan. Especially this lecture is basing on the comparison between Japanese industries and European industries, United States industries. And this lecture is also basing on the banking, securities, and insurance industries. 2. Methods of the lecture This lecture is presented by PowerPoint presentations and handouts at every class. At final, all students should submit a report on the required subject for credits. 3. Attentions for the lecture There are no attentions for the lecture such as preparations, bringing materials, and so on.	〔講義計画〕 1. Schedule of the lecture 1) Introduction of the lecture and financial industry in Japan 2) Introduction of banking industry in Japan 3) The comparison of banking industry between Japan, Europe and United States 4) Abstract of banking business in Japan 5) Introduction of securities industry in Japan 6) The comparison of securities industry between Japan, Europe and United States 7) Abstract of securities business in Japan 8) Introduction of insurance industry in Japan 9) The comparison of insurance industry between Japan, Europe and United States 10) Abstract of insurance business in Japan (Life insurance) 11) Abstract of insurance business in Japan (Non life insurance) 12) Closing the lecture			
〔成績評価の方法〕 Credits will be given by the points of attendance to the lecture and a report.	〔参考文献〕			
〔教科書〕 There are no texts for this lecture. Every class students will get the handouts.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経営学特別講義（インターネットビジネス） （旧経営学特講（インターネットビジネス））		秋学期	2 単位	村 山 博
[講義概要・学習目標] インターネットは多くの新しいビジネスを誕生させながら、我々の社会や生活を大きく変革し始めている。21世紀のビジネスは、インターネットを武器とした知的競争力が勝敗を決めるといっても過言ではない。中でも、世界のインターネットの80%が英語で書かれている現状から、日本語への翻訳を介するのではなく、直接英語で実際のビジネスを理解することは、インターネット誕生以前に比べ、極めて重要になってきている。ところが、従来の講義は、『経営学』『情報技術』『英語』が別々に分かれている場合が多かった。 そこで、本講義は、長期にわたる海外赴任や数多くの海外出張の経験も紹介しながら、インターネットを武器にして新しく誕生しつつあるビジネスを英語で講義することにより、実際のグローバル・ビジネスに直結させることを目標とする。	[講義計画] 1. e-Paper Business（電子新聞、電子出版ビジネス） 2. Animated movie and Character Business（アニメ・キャラクター・ビジネス） 3. Wedding Ceremony and Funeral Service Business（結婚式・葬式ビジネス） 4. Internet Banking Business（電子銀行・電子証券取引） 5. e-Commerce Business（電子商取引） 6. e-Education Business（遠隔地教育ビジネス） 7. e-Travel Business（旅行・観光ビジネス） 8. e-Government and e-Election（電子政府・電子投票） 9. Robot Business（ロボット・ビジネス） 10. Nanotechnology Business（ナノテク・ビジネス） 11. Bio-technology Business（バイオ・ビジネス） 12. e-Business（e-ビジネス）			
[成績評価の方法] 出席状況とレポートで総合的に評価する。	[参考文献] 講義中に適宜指示する。			
[教科書] 特に使用しない。講義はパワーポイントを使用し、毎回レジュメを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	1 1	通 期	4 単位	カ 何 イ 為
[講義概要・学習目標]		[講義計画]		
社会主義市場経済移行中の中国経済・社会環境を反映し、現代中国事情への理解に有益な初歩的な中国語文献の講読により、中国語の読解力を高めながら、中国経済・社会に対する理解を深めるという一石二鳥の効果を図る。		通年講義で30ページを読み、1学期15ページ程度、1講義あたり1～2ページ程度。		
[成績評価の方法]		[参考文献]		
平常点		必要に応じて参考文献を指示する。		
[教科書]				
使用しない。ただし、講義の際に随時プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	12	通 期	4単位	佐橋 義直
【講義概要・学習目標】 世界には様々な国があり、様々な問題を抱えている。この講義では、特に発展途上国や移行経済（旧共産圏の国々）、あるいは先進国の貧困層に焦点を当て、英文資料に基づいてそれらの国の人々の生活の様子や最近の政治状況、直面する社会的、経済的課題を概観し、同時に、関連する開発経済学の基礎的な理論を学ぶことによって、今日の開発問題への理解を深めることを目指す。		【講義計画】 参加者は、与えられたリストの中から興味のある途上国あるいは開発分野のトピックを選択し、所定の英文資料とその他の資料に基づきながら、その途上国またはそのトピックについて、レジュメを用いて報告する。授業ではまた、関連する開発経済学の理論についても、英語文献の輪読もしくは講義を通して、基礎的な知識を習得する。		
【成績評価の方法】 報告及びレジュメ（40%）、前期末試験（30%）、年度末試験（30%）に基づき評価する。		【参考文献】 Todaro, M. P., and S. C. Smith, <i>Economic Development</i> (Pearson Addison Wesley; 8th edition, 2002). Perkins, D. H., S. Radelet, D. R. Snodgrass, M. Gillis and M. Roemer, <i>Economics of Development</i> (W.W. Norton & Company; 5th edition, 2001). 「世界銀行グループ」のウェブサイト http://www.worldbank.org/ BBC News' のウェブサイト（特に"country profiles" のページ） http://news.bbc.co.uk/1/hi/country_profiles/default.stm CIAの'The World Factbook'のウェブサイト Http://www.cia.gov/cia/publications/factbook/ 国連の'IRIN News'のウェブサイト http://www.irinnews.org/		
【教科書】 特に使用しない。プリントを配付する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	1 3	通 期	4 単位	田 中 悟
〔講義概要・学習目標〕 基礎的な経済学の入門テキスト(英文)——教科書の項を参照——の購読を通じて、近代経済学の基本的な考え方を学ぶ。授業は、単にテキストの購読を行うだけでなく、経済学が提供する理論が身の回りの様々な社会現象をいかに捉えようとするのかという点を意識しながら進められる。 なお、テキストの購読に関する予習を授業参加の必須要件とする。	〔講義計画〕 テキストは大部の書物であるから、経済学の初歩的な考え方を理解するために、テキストの一部の章を選択して順次購読していく。授業は、各自の予習を前提にテキストの翻訳を行ってもらい、内容に関する解説を加えるという形で行う。 なお、テキストのコピー配布及び具体的な授業の進め方に関する説明を第1回目の講義時に行うので、受講希望者は出席されたい。			
〔成績評価の方法〕 平常の授業への参加態度(50%)及び定期試験の結果(50%)を総合して評価を行う。	〔参考文献〕 入門的な経済学のテキストとして、下記のものを挙げる。授業と並行して読めば有益である。 1. 伊藤元重(2001)『入門 経済学』(日本評論社) 2. マンキュー(2000)『経済学(1)ミクロ編』(東洋経済新報社) 3. マンキュー(2001)『経済学(2)マクロ編』(東洋経済新報社) 4. スティグリッツ(1999)『入門経済学』(東洋経済新報社) なお、その他の参考文献については、授業中に適宜指示する。			
〔教科書〕 Fischer, S. & R. Dornbusch. (1983), <i>Economics</i>, McGraw-Hill. (絶版のため、購読部分をコピーして配布する)				

2. 絶版本につき印刷・コピーする。

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	1 4	通 期	4 単位	原 正 行
〔講義概要・学習目標〕 経済学に関する英文を読むことによって経済学の基礎理論を学習すると同時に、英語の読解力を高める。	〔講義計画〕 輪読形式で、英語を日本語に翻訳する。			
〔成績評価の方法〕 平常点	〔参考文献〕			
〔教科書〕 <i>Economics</i> by P. Samuelson & W. Nordhaus, 18th edition, McGraw-Hill Book Co.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	15	通 期	4 単位	蒔 谷 硯 児
【講義概要・学習目標】 主として英字新聞(複数)掲載の時事報道の読解によって最近の世界および日本の情勢についての認識を深めるとともに、英字新聞・雑誌の読解力の向上を図ることを目標とする。 テキスト以外にも随時外国の雑誌や新聞記事をコピー配布して読解力の養成を図る。	【講義計画】 テキストの順序に従い2003年中に発生した時事ニュース、米国の対イラク進攻や、国際的禁煙運動、ゴジラのN.T.デビュー、SARS騒動、オスカー賞、スペースシャトル事故、北朝鮮の核武装問題、有事立法成立等々の英文記事を読解し、各節毎の練習問題に取り組みもらう。出来るだけ予習をしてくるよう留意すること。			
【成績評価の方法】 出席状況、課題に対する取り組み方、小テストの成績等を総合的に評価して判定する。	【参考文献】			
【教科書】 Haruo Kizuka, Newsworthy 2004 Macmillan Languagehouse (¥1600+税)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	16	秋学期集中	4 単位	一ノ瀬 篤
【講義概要・学習目標】 イギリスの(と言うよりは、世界の)代表的経済新聞である Financial Times 紙に登場する日本関係の記事をいくつか選んで読む。受講生諸君は経済文献を読むことに慣れていないので、1回で1記事を読めない場合が多いだろう。欲張らず、slow but steady の精神で進める。	【講義計画】 1回に1記事を目標とするが、記事の分量もマチマチなので、必ずしもこだわらない。1記事について数人の発表者を決め、発表者は担当部分の和訳と要約を付したレジュメを作成し、これに基づいて該当部分の内容を報告する。 出席は重視する。初回は一ノ瀬がレポーターになる。			
【成績評価の方法】 期末試験の他に小テストを行い、それらの結果と、発表・発言・出席状況を総合して評価する。	【参考文献】 特には指定しない。			
【教科書】 イギリスの新聞 Financial Times 紙				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	2 1	春学期集中	4 単位	小 川 登
〔講義概要・学習目標〕 ドップの古典的名著『賃金論』の逐語訳を通じて、社会科学入門を究めたい。M. Dobbの『Wages』はケインズが初代編集長をつとめた The Cambridge Economic Handbooksのなかの1冊であり、今や古典的名著といえよう。初版は1928年。 ドップの英語・文体は難解そのものである。キングス・イングリッシュ（今様に言えばクイーンズ・イングリッシュ）で、一文が長いのが特徴。言い回しが複雑でワン・パラグラフが何しろ長いので、和訳していくのが難しい。だから逆に訳しがいがある。 ドップの『Wages』は、賃金論というよりも賃金制度論と言ったほうが適切で、資本主義経済全般の制度分析となっている。 第1回目の講義で15名以下の学生数にしばる（抽選で決める）。よって、第1回目の講義に欠席した学生は受講不可とする。	〔講義計画〕 ドップの英語文が難解そのものなので、英和辞典を片手に持ち、ワンセンテンスずつ逐語訳（直訳）をしていただく。訳する人は、無差別に、その場、その場で当てていく。			
〔成績評価の方法〕 何回、ワンセンテンスを訳したかによる。単位認定は出席者の我慢強さによるものとし、きわめて厳しくする。 試験はしない。	〔参考文献〕 なし			
〔教科書〕 M. Dobb『Wages』James Nisbet, 1958. (テキストは絶版となっているので、当方でコピーして配布する)。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	2 2	春学期集中	4 単位	西川一廉
〔講義概要・学習目標〕 最近、人間心理の奥深さをますます強く感じるようになってきた。時には不可解とさえ感じる。自分自身を理解し、他者を理解し、他者との相互作用を理解し、さらに集団内での人間行動を理解するのは至難のわざのように見える。こうした困難な課題に取り組むためには、人間理解のための道具が必要になる。その道具とはこれまで心理学の領域で開発されてきた人間理解のためのモデル、あるいはコンセプトである。それらを駆使することによって、人間と人間行動の理解が進む。本外国書講読ではそうしたモデル、コンセプトを学ぶ。	〔講義計画〕 短く、簡潔にまとめられたモデル・コンセプトをクラスで順番に読んでいく。読みやすく書かれた教材なので、できるだけ多く読み進め、今後に生かせるようにしたい。そこでバーンの自我状態、マズローの欲求階層、フェスティンガーの認知不協和など取っつきやすいものから始める。 またモデル・コンセプトが当てはまる各自の経験談なども交換し合い、立体的に理解することに努めたい。			
〔成績評価の方法〕 出席、事前学習、教室での報告、討議への参加などをもとに総合的に評価する。	〔参考文献〕 随時、指示する。			
〔教科書〕 授業開始時にプリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	3 1	通 期	4 単位	隅田 孝
	3 2	通 期	4 単位	
[講義概要・学習目標] マーケティングをいかに効率よく戦略的に計画・実践するかということとはほとんど全ての企業にとって非常に重要な課題である。また、企業はマーケティングを計画・実践するには生産、製品、販売、顧客、市場などさまざまな環境と密接に関係をもっていることを認識していなければならない。マーケティングの核となる概念をしっかりと理解した上で、以下のよう なことを学んでいく。 企業が顧客のニーズ(needs)やウォンツ(wants)を認識し、それらに対し て4 P (Place, Price, Product, Promotion) を柱としたマーケティング・ミックスをどのように構築するのか。企業が自社製品を市場に送り出す際 に採られる市場細分化がどのように行われるのか。事業ポートフォリオ、製品差別化、ニッチ戦略などマーケティングに関する事項について学習する。 経営学およびマーケティングに関する数多くの専門用語を英文で学んでいくことになるため、受講生各人は予習が不可欠である。	[講義計画] 1. マーケティングの概念 2. 生産、製品、販売、市場の概念 3. 顧客価値と顧客満足について 4. 企業のマーケティング環境 5. マーケティング・ミックス (4P : Place, Price, Product, Promotion) 6. 製品差別化 7. 市場細分化 8. 消費者行動1 9. 消費者行動2 以上が概ねの予定であるが、これら以外にも必要に応じて指示をする。			
[成績評価の方法] 出席状況、授業態度、期末試験により総合的に評価する。	[参考文献]			
[教科書] Kotler, Philip(1994), <i>Marketing Management</i>, 8th ed., Prentice Hall. より抜粋しプリントを配布する。				

3

外
書
02～

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	3 3	通 期	4 単位	山 本 浩 二
[講義概要・学習目標] 経営学と管理会計および財務会計について、英語でかかれた入門の標準的なテキストによって、学習します。 経営学や管理会計・財務会計の基本的な知識に加えて、専門用語を理解することを目標とします。	[講義計画] 次のような内容について学習します。 ①管理会計と経営組織 ②コストの動きとCVP関係 ③コストマネジメント ④マーケティングの意思決定と関連情報 ⑤製造の意思決定と関連情報 ⑥予算と責任会計 ⑦分権組織の管理 ⑧財務会計の基礎			
[成績評価の方法] 日常の出席状態と担当箇所の報告内容およびレポートによって評価します。	[参考文献] 必要に応じて指示します。			
[教科書] C. T. Horngren, G. L. Sundem, W. O. Stratton, "Introduction to Management Accounting", Prentice-Hall, 12ed.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	51	春学期集中	4 単位	鈴木博信
【講義概要・学習目標】 ブッシーの外交を支える しゃかりネオ・コン(新保守主義者たち)の思想と戦術の代表的論客、ロバート・ケイガンのベストセラー「OF PARADISE AND POWER」を直読・直解する。 これに基づいて、アメリカのロー・インテリゲンチを体得にさせる。 (F記 教科書は外国書である。購入自体が至難に達し、大きな書店に発注する限り、www.amazon.com, www.amazon.co.jp などのサイトから入手するなりして、各自で用意せよ。本書はハードカバー本で18ドルであるが、これをとせば割引される。Amazonでペーパーバック本でよい)		【講義計画】 1. テキストは、明快・簡潔な英文なので、参加者に順次 分担してもらう。語出しもらう。 2. 出席者には、かならず 英和辞典 を携帯すること。 3. テキストには訳書もついていて、随時参照することも出来るが(「ネオコンの論理」)、こうした訳書の土台となる 原文の理解が 徹底するから、ともに心がけたい。		
【成績評価の方法】 出席状況と授業中の報告が5割、学期末のレポートが5割、の配分で評価の予定。		【参考文献】 随時指示するが、「アメリカ現代史」について、各自でより広い範囲の文献や情報にふれておくこと。 ヨーロッパについては、最低限以下の書を読んでおくこと(必読)。 ● クリスチーナ・オクラン、伴野文夫訳 「語り継ぐヨーロッパ統合の夢」(NHK出版、2002) ヨーロッパのヨーロッパ		
【教科書】 Robert KAGAN, OF PARADISE AND POWER: America and Europe in the New World Order (New York: Alfred A. Knopf, 2003)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語学概論	01	春学期集中	4 単位	ケビン グレグ Kevin R. Gregg
〔講義概要・学習目標〕 言語学とは、ヒトがもつ言語能力（知識）を説明する自然科学であるが、「英語学」はその科学を特定の自然言語に当てはめる。本授業では、(概して) 英語を例とし、言語学の基礎概念や現象を紹介し、把握してもらおうとする。 「英語学概論」だから当然、英語を中心とするが、日本語その他の言語についても論じることもあるし、場合によってその言語も宿題や試験の対象とする。一方、「英語学概論」だからこそ、英語の些細な特徴を一々示して覚えさせるつもりも、毛頭ない。むしろ（特に）英語の例に基づいて、人間言語の特徴を理解させることが本授業の目的である。	〔講義計画〕 1) 科学としての言語学 2) 文の構造：統語論 3) 語の構造：形態論 4) 音韻体系：音声学、音韻論 5) 文の解釈：意味論、語用論			
〔成績評価の方法〕 小テストを頻繁に行なう。小テストの大半を受験しない場合、定期試験を受けても無駄で、成績はXとなる。	〔参考文献〕 1) 大津由紀雄ら『言語研究入門』（研究社、2002） 2) プリントを毎回配る			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語学概論	02	秋学期集中	4 単位	南 條 健 助
〔講義概要・学習目標〕 この授業でいう「英語学 (English linguistics)」とは、英語という特定の言語を対象とした理論言語学 (theoretical linguistics) のことである。理論言語学とは、理論物理学と同じ手法で言語を科学的に研究し、人間の脳の中にあると仮定されている言語機能 (language faculty) の仕組みを解明しようとする経験科学であって、「理学部の中で研究されているもおかしい」「理系の中で最も文系に近い学問」とも言われる。 この授業では、英語の中に見られる「言語の本質にかかわる普遍的な原理」と「英語という言語に特有の性質」をさぐりながら、「英語とはどのような言語なのか」を概観する。半年間で英語学研究のほぼ全領域を概説し、英語学の研究方法と最新の研究成果に関する基本的な知識を与える。 なお、日本語の母語話者が英語学を研究する場合には、母語の言語的直観を利用するという意味でも、言語の普遍性と個別性を明らかにするという意味でも、日本語との対照研究がきわめて重要であるから、授業では、できるだけ英語と日本語の共通点と相違点を浮き彫りにするように心がけたい。	〔講義計画〕 1. 入門編 2. 音声学と音韻論 3. 形態論とレキシコン 4. 生成統語論 5. 情報構造と機能的構文論 6. 意味論と語用論 7. 英語史と世界の英語			
〔成績評価の方法〕 原則として、定期試験（80％）と提出課題や小テスト（20％）を総合して評価する。定期試験では、欠かさず授業に出席して、きちんとノートを取っていないと解答できない問題を出题する。また、8回以上欠席した者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。授業中、私語をする学生には即座に退室してもらい、その日は欠席扱いとする。	〔参考文献〕 授業中に紹介する。			
〔教科書〕 開講時まで指定する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学概論	0 1	春学期集中	4 単位	中井紀明
〔講義概要・学習目標〕 文学とは何だろうか。文学の「定義」は難しいが、具体的な「文学作品」をあげることは難しいことではない。夏目漱石をはじめようとするいわゆる「古典的」文学作品から宮部みゆきの現代ミステリー『誰か』そして有名無名の「文学」作品が巷にあふれている。我々も英文学科で小説、詩、演劇作品など様々な英米文学作品を読んでいる。この講義では、まず一時的に作品から一歩離れて、「文学」の定義を試みる。村上春樹や宮部みゆきを読むことは簡単なことであるが、文学を専門に「研究」というのはどのようなことをすることなのか。読みに何か特別な「専門家」らしきことを加えることなのだろうか。英米文学を「専攻」というのは何か特別な「研究方法」を習得することなのだろうか。おおむね〔講義計画〕に沿って諸問題を考えていくが、この日本で英米文学を研究するとはどういうことかも考える。	〔講義計画〕 1. 文学とは何か 2. 文学を研究するとはどのようなことをすることなのか（文学理論・批評） 3. 英語の歴史を90分で概観すると... 4. 詩的言語はあるのか 5. 読むとはどのような行為か（意味と解釈そして文学能力） 6. 作者は死んだのか（作者・テキスト・読者） 7. 修辭学，詩学（英米詩） 8. ナラトロジー（英米小説） 9. Shakespeareという巨人（英米演劇） 10. 文学と政治（イデオロギー）			
〔成績評価の方法〕 1. 平常点（出席重視は当然であるが、毎回配布される原文資料集をきちんと読みこなせているかがポイントになる。） 2. 定期テストとレポート	〔参考文献〕 ロバート・イーグルストン『英文学とは何か：新しい知の構築のために』研究社 ジョナサン・カラー『文学理論』岩波書店 ジョージ・レイコフ『詩と認知』紀伊国屋書店 安藤貞雄『英語史入門：現代英文法のルーツを探る』開拓社 その他随時授業で言及する。			
〔教科書〕 教科書は使わず毎回かなりの量の英文資料を配布してそれを解説しながら英米文学研究の諸問題について講義を進める。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学概論	0 2	秋学期集中	4 単位	中 村 祥 子
〔講義概要・学習目標〕 この講義では、英米文学を学ぶ時の手引きとなるような概念を論じます。そもそも優れた文学作品を読む時の感動はどこからくるのでしょうか。それは作者が読者に伝えようとするメッセージと深いかわりがあります。この作者のメッセージを読者に正確に読み解くためには、最低限知っておかねばならない文学概念があるのです。よく文学はフィクションであると言われる。しかしフィクションとはなんでしょう。どうしてフィクションという「創り話」が、現実の様々な問題を鋭く描き出し、読むものに深い感動を与えることができるのでしょうか。また小説の登場人物や物語の筋といったものは、作者のメッセージとどうかわってくるのでしょうか。 このようにこの講義ではまず、文学におけるfiction, mode, plot, character等々といった、文学理解のための基本的な概念を論じ、作者が文学作品に込めたメッセージを読み解くための読者の側の戦略を論じていきます。この時、具体的に、優れた英米文学作品にできるだけたくさん触れます。さらに後半の講義では、先に学んだ文学概念や戦略を駆使して、実際に文学作品を幾つか分析していきます。そうしてこの講義を通して、学生が文学作品を味わい、自らの批評眼をもつことができるようにしていきます。	〔講義計画〕 英文によるテキストElements of Fictionを使用します。左記の通り、講義の前半では、できるだけ多くの優れた英米文学作品を例にとりつつ、文学理解のための基本概念を講じ、講義の後半では、その概念を使って具体的に応用問題として作品論を行います。			
〔成績評価の方法〕 期末試験の成績、平常の成績の総合評価によります。平常の成績には、出席状況の他に、指示した読文献（テキスト、プリントなどを含む）をどれだけ真面目に読んできたかも加味します。	〔参考文献〕 授業中に指示します。			
〔教科書〕 Robert Scholes著 Elements of Fiction（英宝社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語表現文法 (旧英語の構造)		春学期集中	4 単位	三 宅 亨
【講義概要・学習目標】 言葉を用いて自分の表現したい内容（意味）を聞き手（読み手）に伝えるには、まず語彙を身につける必要がある。しかし、いくら語彙が増えても使い方を知らなければ、日常会話の決まり文句程度の片言の域を出ない。いくつかの語を適切につなぎ正確に意味の伝わる文を作り出す能力（文法知識）が欠かせない。文は単に語が無秩序に並んだものではなく、一定のルールに従って組み立てられたものである。その構造を理解しなければ、文を読んだり、書いたり、聴いたり、話したりすることはできない。この講義では英語でのコミュニケーションに求められる文構造を扱う統語論(syntax)を中心に、高校までに身につけた英文法知識を現実に使われている英語と比べて整理し直し、英語が使えるようにするという実用面と同時に伝統文法から最新の言語理論面への橋渡しを試みる。これは、英語習得の基礎になるので1年次に履修することが望ましい。	【講義計画】 1. 文 2. 動詞と文型 3. 時制と相 4. 態 5. 語法 6. 助動詞 7. 法と条件文 8. 否定 9. 形容詞 10. 形容詞の型 11. 副詞類 12. 情報構造 13. 文の構成要素の移動			
【成績評価の方法】 遅刻や欠席の多い学生には単位を与えない。定期試験はもちろんのこと、日常の学習参加への熱意と小テストやレポートなどにに基づき、総合的に評価する。	【参考文献】 その都度指示する。			
【教科書】 毎回 handouts を配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
基礎演習	01～11	通 期	4 単位	クラス・担当者については、目次で確認してください。
【演習概要・学習目標】 文学部では国際社会で広く活躍しうる人材を育成するために、「実践的英語力」「国際的視野」「現代社会への対応」という3つの方針を掲げている。この演習の目的は、こうした教育理念を具現化するための素養と技能を獲得することである。 「何をどう学ぶか」の指導・助言を行う。とくに文学部でどのような勉学が可能であるか、また望ましいかの履修指導を行う。あわせて学生生活一般にかかわるガイダンスを行う。受講生が2年次以降どのコースを専攻し、またどちらの学科を選択するかを判断するのに役立つことであろう。 具体的な授業内容としては、とくに少人数ゼミナールという利点を生かして、研究発表のしかたやレポートの書き方に習熟することが重視される。これはすべての科目に有益であるが、とくに3年次からの専門演習をスムーズに始めることができるであろう。	【演習計画】 ① 履修指導。履修要項の見方やカリキュラムの概要を知る。 ② 図書館の利用方法 ③ 情報センターの利用方法 ④ 講義の受け方、ノートを取り方 ⑤ 読書指導（内容の把握と評価） ⑥ 文章指導 ⑦ レポートの書き方（問題の発見・設定、資料・情報の収集、情報の解説と総合） ⑧ プレゼンテーションの方法、自己紹介から研究発表まで			
【成績評価の方法】 出席（毎回出席が原則）、積極的な授業参加、課題の提出などにより総合的に評価する。	【参考文献】 その都度指示する。			
【教科書】 特に定めない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文化人類学		秋学期集中	4 単位	小池 誠
[講義概要・学習目標] 文化人類学は自分たちとは異なる文化を調査・研究し、この世界に住むさまざまな人々の多様性を明らかにしてきた。この授業では、文化人類学独自のアプローチを通して、異文化にたいする理解を深めることを目的とする。また、多様性を通して現れてくる人類としての普遍性もみていきたい。私たちの常識とはまったく違う習慣や社会のあり方を遅れたものと見下すのではなく、それぞれに独自の価値を見いだす、文化人類学の視点を身につけてもらいたい。 地域に根ざした日常文化を学ぶだけでなく、グローバリゼーションが進む現代世界で、地域の文化がどのように変化しているか考えていきたい。 受講生の関心と理解を深めるために、できるかぎりビデオなどの視聴覚教材を講義のなかに取り入れていきたい。	[講義計画] 1 文化人類学とは何か？ 2 文化とグローバリゼーション：文化とは何か、またグローバリゼーションによって地域の文化はどう変わっていくか？ 3 人類と言語：言語の役割は何か？ 4 家族と結婚の多様性：家族とは、結婚とは何か？ 5 文化人類学と政治・経済学：どうして人は力をもつのか？なぜ人はものを贈るのか？ 6 宗教と儀礼：現代世界で人は何を信じ、何を恐れ、何を求めるのか？ 7 まとめ			
[成績評価の方法] 平常の出席と期末試験の成績をもとにして評価する。また、必要に応じて提出を求める小レポートの内容も加味して成績をつける。	[参考文献] 講義のなかで必要に応じて紹介する。			
[教科書] なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
地域文化概論		秋学期集中	4 単位	今 澤 浩 二
[講義概要・学習目標] 世界にはさまざまな地域があり、それぞれの地域にはその地域特有の「地域文化」が存在する。そうした「地域文化」はどうとらえるべきなのか、どのように見ていくべきなのか。 本講ではこうした問題について、トルコという地域を題材に取り上げて考察し、ひとつの地域の文化を見る上での視点を考えたい。	[講義計画] 1. 自然—トルコの自然と地理— 2. 宗教—イスラーム— 3. 歴史—トルコ民族史— 4. 現代社会の諸相—住民・宗教観・食文化・スポーツ—			
[成績評価の方法] 授業中の小テスト、小レポート、学期末試験。	[参考文献] 講義中に随時、紹介する。			
[教科書] なし。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化概論		秋学期集中	4 単位	小 林 信 彦
〔講義概要・学習目標〕 日本文化の特徴は何か。他の文化と違う点は何か。この問題に答えるためには他の文化と比べてみなければならない。そのための作業として、日本人が異文化をどのように受け取ったかを調べればよい。幸いにして日本には異文化圏から来た書物が数多く伝わっているが、この授業では特に仏教のものを取り上げる。 仏教文献を読んだ古代日本人の発言に着目し、これをインド文献の記述と比較することによって、日本文化とインド文化の決定的な違いを指摘する。	〔講義計画〕 ① 授業中の質問と発言を特に評価する。 ② 課題ごとに小試験を行い、折に触れて授業内容の要約を提出させる。 ③ 学期の中間と学期末に試験を行う。			
〔成績評価の方法〕 まず基礎知識を確実に身につけさせるために、仏教について最も根本的な点を分かり易く説明する。次に古代の日本説話の中から話を一つ選んで、日本人が仏教をどう扱っているかを詳しく解説する。その上で、インド人と日本人の間で考え方の違いを理解させる。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 教室で扱う資料はそのつど複写で配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語学概論		通 期	4 単位	大 石 正 晴
〔講義概要・学習目標〕 言語学は、「言語とは何か」とか、「言語はどのように働くか」という根本的な問いに答えようとする学問である。もう少し厳密に言えば、言語の本質・構造・他の文化現象との関連・および言語の歴史的变化の研究等を目的とするものである。 人間の生活に占める言語の役割は極めて重要であることは言うまでもないが、特に、人間の知的活動のすべては、根源的には言語と密接に結びついているといえる。従って、言語という信号体系を、それを構成する諸要素、即ち、音・語・文・意味等を体系的に明らかにし理解しておくことは、言語使用の面から見ても極めて意義のあることである。 本講義では次のような問題点も含めてみていくことにする。即ち、『すべての言語に共通する特徴は何か』、『人間の言語と動物の伝達にはどのような違いがあるか』、『人間の言語習得の原理は何か』、『社会構造の違いがどのように言語に反映するか』、『言語の使用にはどのような問題があり、それをどのように解決すればよいか』などである。 言語の解明を通して人間や文化の根底にあるものの理解にまで到達できればと願っている。	〔講義計画〕 次の諸問題を中心に考察する。 ・ 言語とは何か ・ 言語の内部構造—音・語・文・意味等 ・ 言語使用の問題—聞き手と話し手が絡むコミュニケーションに働く一般的な原則・原理・手段等 ・ 言語の外側をとりまくもの—言語と社会・言語と心等 ・ 言語の変化—変化の様相・要因等 ・ 普遍文法			
〔成績評価の方法〕 試験と講義への出席度による。	〔参考文献〕 「現代の言語学」（金星堂）、「言語学百科事典」（大修館書店）他、適宜紹介する。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語学概論		秋学期集中	4 単位	有川康二
[講義概要・学習目標] 日本語学習者の質問。「は」に濁点がつくと、「ば」。でも、何故「な」に濁点をつけて「なゝ」にしても発音できないの？「大型」は「おおがた」。でも、何故「大風」は「おおがぜ」と言わないの？「病気の人」とは言うけど、何故「元気の人」とは言わないの？「猫が金魚が食べた」は変だけど、この時、頭の中の中ではどんなことが起こってるの？ 日本語話者なら誰でも日本語を自由に「使える」が、その仕組みを体系的に「説明」できない。（誰でも脳味噌は使えるが、そのメカニズムは説明できない。）「経験科学」の手法を用いてヒト脳言語野のメカニズムを探る。科学は、誰もが当たり前過ぎて考えるのも馬鹿らしいと思う事柄に驚嘆することから始まる。その意味では、「自然言語（ことばをしゃべる）」は「重力（ものが落ちる）」や「光（明るい・暗い）」とともに科学の格好の対象である。 日本語を三つの視点から概論する。（１）生物言語学の視点＝自然が創り上げた脳の創発的自己組織化の過程で出現した自然言語の一般的性質とは何か？（２）日本語教育学の視点＝日本語を外国語として学ぶ人々にとって日本語の客観的な説明とは何か？（３）哲学的視点＝私とは何者なのか？私はこの宇宙の中で何をしながら死を待っているのか？（こんなことは大学とお寺でしか言われないので我慢してください。）		[講義計画] （１）音特徴情報処理のインターフェースにおける原理とメカニズム（簡単に言えば「音」の問題） （２）文全体の意味特徴情報処理のインターフェースに至る過程から音特徴が剥ぎ取られた後、音特徴情報処理インターフェースに至る早い段階における原理とメカニズム（簡単に言えば「単語」の問題） （３）文全体の意味特徴情報処理のインターフェースに至るまでの構造形成の過程における原理とメカニズム（簡単に言えば「文」の問題）		
[成績評価の方法] 出席・筆記試験		[参考文献] 井上和子・原田かつ子・阿部泰明『生成言語学入門』大修館書店		
[教科書] 上山あゆみ『はじめての人の言語学—ことばの世界へ』（くろしお出版）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
音声学・音韻論 (旧英語音声学)		春学期集中	4 単位	南 條 健 助
[講義概要・学習目標] 音声学 (phonetics) とは、音声を科学的に研究する言語科学 (linguistic sciences) の一分野であり、同時に、あらゆる音声を正確に聞き分け、かつ発音し分けることができる、いわば職人芸 (art) でもある。また、イギリス学派音声学 (British school of phonetics) では、音韻論 (phonology) も音声学の一部であると見做される。 この授業では、イギリス学派の伝統である実践音声学 (practical phonetics) というやり方によって、標準的なアメリカ英語の音声を、主として調音 (articulation) の面から研究する。実践音声学の手法を用いるためには、まず初めに、たとえ日本人であっても、アメリカ人と区別がつかないくらい、アメリカ人そっくりの発音ができる技能を身につけなければならない。授業では、どうすればそういう発音ができるようになるのかを詳しく解説し、そのための音声学訓練 (phonetic training) に、多くの時間を割くつもりである。また、そのような訓練と並行して、毎回少しずつ音声の理論と英語の音声事実を勉強していくことにしたい。	[講義計画] 1. 入門編 2. 強勢とリズム 3. 音調 4. 音のつながりと音変化 5. 子音 6. 母音 7. 発展編			
[成績評価の方法] 原則として、定期試験 (80%) と提出課題や小テスト (20%) を総合して評価する。定期試験では、欠かさず授業に出席して、きちんとノートを取っていないと解答できない問題を出題する。また、8 回以上欠席した者には、定期試験の成績にかかわらず、単位は与えられない。授業中、私語をする学生には即座に退室してもらい、その日は欠席扱いとする。	[参考文献] 授業中に紹介する。			
[教科書] 開講時までに指定する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
意味論・語用論 (旧意味論 (意味論の基礎概念) (2)) (旧語用論 (語用論の基礎概念) (2))		春学期集中	4 単位	林 宅 男
[講義概要・学習目標] ここでは、ことばの意味の諸相について、前半では語や文の概念に関する「意味論」を、後半では発話の場面や文脈上の意味に関する「語用論」を扱う。意味論では、近年の認知科学の発展と平行して最近注目を浴びている「認知主義の意味論」を扱い、言語が脳の精神作用一般の働きと密接に関係し、その意味は主観的な自己の経験や知識によって影響されるという認知言語学の観点からの研究を紹介する。語用論(プラグマティクス)では、我々はコミュニケーションにおいて、ことばを使ってどのように意志疎通を図るかについて、文法事象の文脈の説明や発話意図の表現解釈のメカニズムの他、言語表現や解釈の過程における認知的、社会的現象を分析した最近の研究を幅広く紹介する。	[講義計画] (以下のトピックスをそれぞれ2～3回にわたって扱う) (1) 認知意味論の意味観 (2) 範疇とプロトタイプ (3) イメージスキーマ (4) 意味の拡張 (5) 認知的文法・構文研究 (6) プラグマティクスの意味観 (7) 言語形式の談話レベルでの分析 (8) 発話における意図と解釈 (9) 言語使用の認知的研究 (10) 社会的プラグマティクス			
[成績評価の方法] 出席、クイズ、課題、試験を総合的に評価する。	[参考文献] 1. 杉本公司 (著) 「意味論2」--日英対照による英語学演習シリーズ8 ころしお出版、1998年 2. 河上哲作 (編著) 「認知言語学の基礎」研究社、1996年 3. ジェニー トーマス (著) 田中典子他 (訳) 「語用論入門」研究社、1998年 (Jenny Thomas, 1995 "Meaning in Interaction: An Introduction to Pragmatics" London: Longman) 4. 小泉 保(編) 「入門語用論」-理論と応用- 研究社、2001年 5. その他授業中に紹介する。			
[教科書] 1. プリント教材 2. 高原脩、林宅男、林礼子 (共著) 「プラグマティクスの展開」 勁草書房 2002年				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
統語論 (旧 英語統語論Ⅰ (統語論入門)(2)) (旧 英語統語論Ⅱ (英語の統語現象)(2))		秋学期集中	4 単位	清 水 真 一
〔講義概要・学習目標〕 本講では、これまで受講生が学習してきたはずのいくつかの英語の構文を整理・確認し、また、それらを多角的に観察するという作業から出発したい。それらの中には、疑問文、関係詞節、受身文などの基本的な構文や、動詞にかかわるさまざまな型など、おなじみの項目が含まれる。しかる後、節と名詞を軸に、移動と解釈に焦点をあてつつ、それぞれの統語的特徴を観察し、またいくつかの分析をこころみたい。その中で、とりわけ「局所性」が多くの統語現象に深くかかわっているということに注目してみたい。本講が、狭義の文法としての統語論に対する興味・関心を抱く契機を受講生諸君に提供できれば幸いである。出席はとくに重視する。	〔講義計画〕 1. 英語の主要構文 2. 節の統語 3. 移動と局所性 4. 節の構造(発展編) 5. 名詞の統語 6. まとめ			
〔成績評価の方法〕 原則として、試験、クイズ、出席に基づいて総合評価をおこなう。	〔参考文献〕 授業中に随時、指示する。			
〔教科書〕 プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語史		春学期集中	4 単位	野 原 康 弘
〔講義概要・学習目標〕 イギリスを旅してまわると、いろいろな場所で、いろいろな民族が残したものを 見ることができる。南西部のソールズベリー平原には、ケルト民族以前の住民たち の遺産「ストーンヘンジ」が今でも謎のまま残されている。ケルト民族伝説のアー サー王の城だったといわれているものは、いたるところにある。イングランド北部 を横断シテイル「ハドリアヌスの城壁」は、約2千年前のローマ人の支配の強さを 今なお見せている。東部の海岸ハ「サクソン海岸」と呼ばれ、ゲルマン民族の 侵略と征服を今に伝えている。「リンディスファーンの破壊された修道院」はヴァ イキングの侵略の激しさを物語っている。おびただしい数の「フランス語からの借 用」は1066年以後、約300年以上のノルマン人の支配を知らしめている。 このような外的な歴史の変化にともなって、英語という言葉がもたらされ、それ 自体も大きく変化してきたのである。したがって、この講義では「英語」という言 語が外的な歴史と関連して、「英語」自体の内的な歴史をどのように展開してきたか を学んでいくことになる。	〔講義計画〕 1. 英語の祖先語 2. ケルト民族の遺産 3. ローマ人による征服 4. ゲルマン人による征服 5. 英語の始まり 6. 古期英語 7. ヴァイキングによる侵略 8. ノルマン人による征服 9. 中期英語 10. Chaucer の英語 11. 近代英語の始まり 12. 英国のルネサンス 13. Shakespeare の英語 14. 聖書の英語 15. 近代英語後期 16. 語形成 17. 意味の変化 18. 統語法の変化 19. アメリカ英語 20. 世界の英語			
〔成績評価の方法〕 試験を重視。出席も考慮する。	〔参考文献〕 授業中にその都度指示する。			
〔教科書〕 『英語史入門』 H. Koziol (小野茂 訳) 南雲堂				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語学研究（英文法とコミュニケーション）		秋学期集中	4 単位	マイケル キャロル Michael Carroll
〔講義概要・学習目標〕 この授業では、高校までに勉強した英語の文法を考え直させる。英文法は学校科目だけではなくて、コミュニケーションのためであるから、この授業では、英語を簡単に使うように文法を熟考しながら、authentic英語を聞き、会話を練習する。特に典型的な誤りに気づくことにより、自分の英語の使い方を上達させる。 In this course the grammar that students have studied in High School will be re-evaluated. English is not just a school subject, it is a means of communication. In this course students will listen to authentic English and practice speaking, at the same time as they consider English grammar, in order to become able to use English easily. In particular, by noticing typical errors they will improve their ability to use English.	〔講義計画〕 ミニ講義、聴く・話す練習、日記、ディスカッション。 授業は大体英語で。 Mini-lectures, listening and speaking practice, discussion. This course is mostly in English.			
〔成績評価の方法〕 出席、レポート・日記、試験を評価する	〔参考文献〕			
〔教科書〕 Ellis, R. and Gales, S. 1999 Impact Grammar: grammar through listening. Hong Kong: Longman Asia ELT ISBN 962-00-1428-6				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米小説研究（無垢と掟） （旧イギリスの小説（無垢と掟）（2）） （旧アメリカの小説（無垢と掟）（2））		春学期集中	4 単位	佐々木 英 哲
〔講義概要・学習目標〕 晩年を迎えた Melville による中編遺稿小説 <i>Billy Budd</i> を扱う。この中編は単純という男達だけで構成される閉鎖空間内で起きる処刑事件をめぐる物語である。美貌の Billy は、この世に悪が存在することすらわからないような無垢そのものの青年である。そんな Billy に懐の広い Vere 艦長はいつも目をかけてやっていたが、上官 Claggart は Billy に嫉妬し彼を憎む。そして Billy を首謀者とする謀反話をでっち上げた Claggart を、Billy は一撃で殴り殺してしまう。Billy に慈父のようだった艦長は掟に従い、彼を処刑に付す。 Billy を陥れる行為の内に潜む Claggart の欲望とは何だったのか。美／無垢／純真を具現する Billy を打ちのめそうと Claggart が願うのはなぜか。Claggart の屈折した心理には Billy への愛、あるいは艦長への愛が絡まっているのか。艦長が Billy ではなく法／規律／秩序を選択するのは何故か。20 世紀末に生きる我々読者は今日の視点から作品に臨むと、19 世紀の作家が作品内に表したもの、隠したものを、作家の英語表現からどれほど抽出できるのだろうか。	〔講義計画〕 マクロ（巨視）的読み、ミクロ（微視）的読みという両面から作品を攻めていく。前者の攻略法はストーリーの展開とその連続性、非連続性、人物造型における一貫性と矛盾などを理解するために援用する戦略である。後者の攻略法はいわゆる精読という正攻法で、この方法により書かれてある英語表現を正確に理解し、行間を読むレベルまで進み、作者が言い淀んでいる部分にまで立ち入ってみたい。時間が限られていることに考慮し、精読する箇所をこちらからあらかじめ指定しておくので、受講者はその箇所を下読みしたうえで授業に臨む。 なお本講座では希望者を募る形式のレポーター制をとる。レポーターはレジュメを用意し、担当箇所のアウトラインを明示し、キー・ワード（フレーズ）、キー・センテンスなどを手がかりに、問題点を指摘し作品解釈を試みる。またレポーターには必要に応じて史的背景なども調べてもらう。あわせてレポーターは作業の最中に出会った読みづらい英語表現を指摘してほしい。			
〔成績評価の方法〕 学年末レポート。 授業への積極的参加を評価。	〔参考文献〕 授業で指示する。			
〔教科書〕 Melville: <i>Billy Budd</i> 編注 北川悌二 北星堂				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米演劇研究（アーサー・ミラーを読む） （旧 イギリスの演劇（アーサーミラー・を読む）（2）） （旧 アメリカの演劇（アーサーミラー・を読む）（2））		春学期集中	4単位	伊 藤 貞 基
〔講義概要・学習目標〕 劇作家アーサー・ミラー（1915- ）の名を世界的なものにした、第二次世界大戦後のアメリカ演劇を代表する名作 <i>Death of a Salesman</i> (1949) を読む。この劇は、時代の変化についていけなくなった老セールスマンを、人々の価値観の犠牲者として描き、彼の中にそのような価値観を培ったアメリカ社会が批判されている。主人公ウィリーのパーソナリティ、家族関係、そして彼が生きた社会の状況などを考察し、彼がなぜ自殺に至るのかを考えたい。	〔講義計画〕 この作品は2幕構成で、140頁から成る。毎回7-8頁のペースで読み進み、20回目の授業で読み終える。その時点までに、この作品の登場人物たち、この芝居のsettingや筋の展開、この芝居のテーマなどについての課題レポートを提出してもらおう。20回目以後の授業では、提出された課題レポートを軸にして、この作品についての討論を行う。			
〔成績評価の方法〕 教室での発表と出欠状況、期末の筆記試験、学期途中に提出するレポート課題などを総合して評価する。	〔参考文献〕 1) 現代演劇研究会 『アーサー・ミラー』 英潮社 2) 『アーサー・ミラー全集（I）』 早川書房			
〔教科書〕 Arthur Miller, <i>Death of a Salesman</i> (Annotated by Tosao Kanamaru) 英光社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米詩研究（英米詩を楽しむ） （旧イギリスの詩（英米詩を楽しむ）（2）） （旧アメリカの詩（英米詩を楽しむ）（2））		春学期集中	4単位	岡 田 章 子
〔講義概要・学習目標〕 英詩には哲学的なもの、宗教的なもの、あるいは政治的なもの等いろいろあり、難解な作品も多いが、親しみやすく面白いのは物語詩である。お話を語るといふ素材さの中にいつの時代も変わらない人々の心が写しだされるからである。物語の展開を楽しみ、言葉の美しさを味わい、人間性について考えるのが本講義の目標である。作者不詳で人々が口承で伝えた伝承バラッドから 19 世紀 20 世紀のロッセティ、オーデン等近代の作品までを読み進みながら学生と共に英詩を鑑賞したい。 『英国物語詩 14 撰』には勇敢な恋人の話、中世の戦いの話、船の難破の話とさまざまな題材で物語が語られる。学生はむつかしく考えすぎずお話を楽しんでほしい。その中で人の心の暖かさや悲しみを理解してほしい。 毎時間きちんと出席し、習った作品は自分で反復して読んで味わうことが大切である。	〔講義計画〕 1. 英詩の流れ 2. 英詩の基礎知識 3. 物語詩鑑賞 4. まとめ			
〔成績評価の方法〕 定期試験・平常点	〔参考文献〕 松浪 有 『講座英米文学史 詩 1』(大修館、1977)			
〔教科書〕 『英国物語詩 14 撰』(松柏社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																																																				
アメリカ文学史		秋学期集中	4 単位	中井紀明																																																				
〔講義概要・学習目標〕 植民地時代から現在にいたるまでのアメリカ文学の核になる作家・詩人の原作を抜粋で数多く読む。アメリカの作家詩人たちの英語に慣れってもらうと、その文学性を原文でしっかりと把握してもらうためである。それぞれの時代背景とか作家の伝記は平易な英語で書かれている下記の教科書を各自が読んで理解してもらうことにする。	<table><tr><td>1</td><td>Puritan writers</td><td>14</td><td>Norris, London</td></tr><tr><td>2</td><td>Franklin, Jefferson, Paine, Hamilton, Crèvecoeur</td><td>15</td><td>Wharton, Dreiser, Cather, Anderson</td></tr><tr><td>3</td><td>Irving, Cooper, Bryant</td><td>16</td><td>Poets from 1900-1930s</td></tr><tr><td>4</td><td>Emerson</td><td>17</td><td>Fitzgerald</td></tr><tr><td>5</td><td>Thoreau</td><td>18</td><td>Hemingway</td></tr><tr><td>6</td><td>Hawthorne</td><td>19</td><td>Faulkner</td></tr><tr><td>7</td><td>Melville</td><td>20</td><td>Steinbeck</td></tr><tr><td>8</td><td>Poe</td><td>21</td><td>Welty, O'Connor, McCarthy</td></tr><tr><td>9</td><td>Longfellow, Holmes, Lowell</td><td>22</td><td>Updike, Sukenik, Nabokov, Plath</td></tr><tr><td>10</td><td>Whitman, Stowe</td><td>23</td><td>Black writers</td></tr><tr><td>11</td><td>Dickinson</td><td>24</td><td>Dramatists</td></tr><tr><td>12</td><td>Twain</td><td>25</td><td></td></tr><tr><td>13</td><td>Howells, James, Crane</td><td>26</td><td></td></tr></table> 〔講義計画〕 上の順番に主たる作家・詩人の原作を精読する。				1	Puritan writers	14	Norris, London	2	Franklin, Jefferson, Paine, Hamilton, Crèvecoeur	15	Wharton, Dreiser, Cather, Anderson	3	Irving, Cooper, Bryant	16	Poets from 1900-1930s	4	Emerson	17	Fitzgerald	5	Thoreau	18	Hemingway	6	Hawthorne	19	Faulkner	7	Melville	20	Steinbeck	8	Poe	21	Welty, O'Connor, McCarthy	9	Longfellow, Holmes, Lowell	22	Updike, Sukenik, Nabokov, Plath	10	Whitman, Stowe	23	Black writers	11	Dickinson	24	Dramatists	12	Twain	25		13	Howells, James, Crane	26	
1	Puritan writers	14	Norris, London																																																					
2	Franklin, Jefferson, Paine, Hamilton, Crèvecoeur	15	Wharton, Dreiser, Cather, Anderson																																																					
3	Irving, Cooper, Bryant	16	Poets from 1900-1930s																																																					
4	Emerson	17	Fitzgerald																																																					
5	Thoreau	18	Hemingway																																																					
6	Hawthorne	19	Faulkner																																																					
7	Melville	20	Steinbeck																																																					
8	Poe	21	Welty, O'Connor, McCarthy																																																					
9	Longfellow, Holmes, Lowell	22	Updike, Sukenik, Nabokov, Plath																																																					
10	Whitman, Stowe	23	Black writers																																																					
11	Dickinson	24	Dramatists																																																					
12	Twain	25																																																						
13	Howells, James, Crane	26																																																						
〔成績評価の方法〕 平常点（出席は当然のことであるが、授業時の質疑応答、『アメリカ文学史2004ハンドアウト集』をきちんと読んでいのか否かで判断）、定期試験時の筆記試験とレポート。	〔参考文献〕 『コロンビアアメリカ文学史』 別府/渡辺編著『新版アメリカ文学史—コロニアルからポストコロニアルまで—』 その他の参考文献については教室あるいはハンドアウト集で言及する。																																																							
〔教科書〕 Peter B. High, An Outline of American Literature. Longman. 1986. 原作からの抜粋は『アメリカ文学史2004ハンドアウト集』として前もって渡す。																																																								

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリス文学史 (旧イギリス文学史Ⅰ)		春学期集中	4 単位	中 村 祥 子
〔講義概要・学習目標〕 長いイギリス文学の歴史には、文学を読む楽しさに目を開かせてくれるような素晴らしい作家や作品が豊富に含まれている。たとえば、実際にShakespeareの劇を観たり、John Donneの詩に触れたり、DickensやHardyの小説を読んだりすれば、誰もが感動するはずである。この講義では、学生がイギリス文学に関心をもち、文学を読むことの意義や真の面白さに気づききっかけとなるような、こうしたイギリス文学の真髄に当たる、幾人かの作家や幾つかの作品に焦点を当てて論じていく。 それに加えて、イギリス文学の全体の流れを理解し、イギリス文学と時代や社会の風潮との密接なかわりも理解できるように、重要な作家・作品を時代背景とともに記述したテキストを使用する。	〔講義計画〕 各時代の特色と代表的な作家・作品には簡単に触れるが、多くのものを網羅的に扱うのではなく、左記のように、現代の学生が興味をもてそうな諸作品を重点的に論じていく。テキスト以外にも、補充のプリントを使用する。			
〔成績評価の方法〕 期末試験の成績、平常の成績の総合評価による。平常の成績には、出席状況の他に、指示した読了文献（テキスト、プリントなどを含む）をとれだけ真面目に読んできたかも加味する。	〔参考文献〕 授業中に指示する。			
〔教科書〕 斎藤 勇監修 田中康男・小宮山 博共著『イギリスの文学 概説と演習』（英宝社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学と現代の諸問題（U S Aと帝国） （旧現代の諸問題と英米文学Ⅰ（U S Aと帝国Ⅰ）（2）） （旧現代の諸問題と英米文学Ⅰ（U S Aと帝国Ⅱ）（2））		春学期集中	4 単位	藤 森 かよ子
〔講義概要・学習目標〕 英米文学は小説や詩や演劇ばかりではありません。エッセイや政治家の演説、聖職者の説教も、優れたものは「文学」として伝えられ、英米では高校の国語の時間に学びます。政治家や言論人は、言葉で人々を動かすのですから、文学のセンスがなければ人々の心をつかむことはできません。言葉と政治が密接に結びついているのが、英米の伝統のひとつといえます。 この講義では、アメリカ文学史の中に残る政治的エッセイや宣言や演説を精読することによって、たまにはアメリカの政治映画の鑑賞によって、アメリカという国家の成り立ちや歴史、政治や文化の質を学びます。ソ連崩壊の冷戦終結後のアメリカ合衆国は世界覇権国となり、アメリカを帝国主義的であると批判する反米論も多いです。この講義では、「アメリカ合衆国は帝国か？」という問題も考えたいと思います。主権国家みたいな顔をして、日本はアメリカの属国です。アメリカのことを知らなければサバイバルできません。ハリウッド映画を見てマック食べてコーラ飲んでも、アメリカのことはわかりません。この講義は、アメリカが好きにな人にとっても嫌いな人にとっても、興味深いものとなるでしょう。	〔講義計画〕 第1回講義：受講についてのガイダンス 第2－5回：トーマス・ジェファソン「独立宣言」と建国神話 第6－8回：エイブラハム・リンカーン「ゲティスバーグの演説」と南北戦争 第9－11回：マーク・トウェイン「愛国心について」と米西戦争と帝国主義 第12－16回：H. L. メンケン「アメリカの文化」と大恐慌 第17－23回：アイン・ランド「人間の諸権利」と冷戦 第24回～：冷戦終焉以後 ★ 鑑賞予定候補の映画 建国期関連——『ラスト・オブ・モヒカン』『ダンス・ウィズ・ウルヴズ』 南北戦争関連——『グローリー』 恐慌関連『大恐慌—アメリカ・ニューディール』（歴史教育教材） 冷戦時代関連——『若き勇者たち』『フルメタル・ジャケッ』 『地獄の黙示録』『7月4日に生まれて』			
〔成績評価の方法〕 出席と毎回のコメントペーパーと学期末試験から総合的に判断します。	〔参考文献〕 以下のものを読んでおけば、講義内容が非常によく理解できるでしょう			
〔教科書〕 プリント使用。講義初回に受講生に配布します。以下のものを読む予定です。内容が一部変更することもあります。 Thomas Jefferson, The Declaration of Independence Abraham Lincoln, Address at the Dedication of the Gettysburg National Cemetery Mark Twain, As Regards Patriotism H. L. Mencken, American Culture (抜粋) Ayn Rand, Man's Rights	（1）ハワード・ジン著/猿谷要監修/飯野正子・高村広子訳『甦れ独立宣言—アメリカ理想主義の検証』（人文書院、1993年） （2）副島隆彦『世界覇権国アメリカを動かす政治家と知識人たち』（講談社α文庫、1999年） （3）エマニュエル・トッド著/石崎晴巳訳『帝国以後』（藤原書店、2003年） （4）J. G. ガネル/中谷義和訳『アメリカ政治理論の系譜』（ミネルヴァ書房、2001年）			

注意：市販の教科書は必要ありません。コピー教材を使います。

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学と現代の諸問題（ゴシックの伝統） （旧現代の諸問題と英米文学Ⅲ（ゴシックの伝統Ⅰ）（2）） （旧現代の諸問題と英米文学Ⅲ（ゴシックの伝統Ⅱ）（2））		秋学期集中	4 単位	日 下 隆 平
〔講義概要・学習目標〕 昨今の日本も廃墟ブームといわれるが、18 世紀イギリスにも荒廃した城や寺院を模倣した廃墟の美学が流行した。それは、ゴシック様式の建築、庭園だけでなく、絵画、文学に至るまで幅広い領域での潮流となった。ふつうゴシックとは怪奇な美、不規則性や恐怖を楽しむ審美的傾向をさし、ひろく時代を越えて使用される。この講義ではこれを生みだした当時の思想または政治・社会的コンテキストにも言及しながら、ゴシック様式の詩・小説、その他の芸術について述べてゆきたい。	〔講義計画〕 ① ゴシックの定義 ② ゴシック様式の建築：ウィリアム・ベックフォード ③ ゴシック様式と英国庭園：「ピクチャレスク」 ④ エドモンド・バーク：「サブライム」 ⑤ 作品講読			
〔成績評価の方法〕 レポート形式による試験と授業参加 授業では「ゴシックの伝統」についての論文を解説しながら読んでゆきます。積極的な授業参加が望みます。	〔参考文献〕 授業で指示します。			
〔教科書〕 Stevens, David <i>The Gothic Tradition</i> (Cambridge U.P.2000)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学と現代の諸問題（愛の諸相） （旧 現代の諸問題と英米文学Ⅳ（愛の諸相Ⅰ）（2）） （旧 現代の諸問題と英米文学Ⅳ（愛の諸相Ⅱ）（2））		通期	4単位	金 城 盛 紀
〔講義概要・学習目標〕 人間は愛なしには生きられない。愛は多種多様にある。男女の愛、同性愛、友愛、肉親愛、隣人愛、愛郷心、愛国心、人類愛、動物愛、エトセトラ、エトセトラ。男女の愛にはプラトニックラブ、性愛もあれば、片思い、相思相愛もある。邪恋もあれば悲恋もある。もちろん、神の愛もある。 このような愛のさまざまが英文学でどのように表現されているか実際に触れてみたい。学問の対象としてよりは、生きていく知識・智恵を与える文学として読む。英語がいっそう好きになり、文学に愛着を覚え、人生を愛おしむようになれば幸いである。	〔講義計画〕 イギリス・ルネサンスから現代まで、英文学のつまみ食いをする。なるべく、シェイクスピア、ミルトン、ワーズワス、ブロンテなど代表的作家を含めるが、皆さんには未知の作家も読み、テープを聴く。演劇や小説などはビデオで鑑賞して、愛の問題を中心に検討する。			
〔成績評価の方法〕 平常点と試験。	〔参考文献〕 必要であれば、授業で紹介する。			
〔教科書〕 プリントを準備する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ディスカッション法 （旧英語ディスカッション）		秋学期集中	4 単位	ラウール ヒルバンテス Raoul Cervantes
〔講義概要・学習目標〕 This class will focus on serious discussions of English language movies. Each week, will view a movie, and discuss several scenes from the movie. Topics will include character, personality, psychology, and filmmaking. Only English will be spoken, no Japanese or translation. Students must attend classes and complete any homework. To pass this class, student must be able to use spoken English. This class is not for beginners.	〔講義計画〕 During the first half of the year, we will discuss the movie "Memento." This film focuses on psychological topics including memory and reality. During the second half of the year, we will discuss the film, "Schindler's List." This film will focus our discussion on morality, personal choice, and how our social environment shapes us.			
〔成績評価の方法〕 CLASS PARTICIPATION AND coming to class	〔参考文献〕			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ディベート法 (旧英語パブリック・スピーキング)		通 期	4 単位	萬 戸 克 憲
〔講義概要・学習目標〕 与えられた問題について ①論理的に思考をし ②相手の論拠の矛盾を見極め ③その場で反駁するなどのことが、英語でできる技能を身につける。 準備、発表などで毎時間積極的な取り組みが必要である。かなりきつい授業であるので、覚悟して受講してほしい。また無断で休むとチームのメンバーに迷惑をかけることになるので、絶対にしないように。 この授業を通じて、英語で自由に自分の意見を述べたり、相手に反論できるようになることを期待している。 なお、最初の授業でプリントを配布する。次の課題について2回目の授業時間に essay (日本語でB5版に3～5枚) を書いて提出する。これによってこのコースの受講を認める。 ① debate と discussion とはどのように違うか ② debate を通じて、どのような力を身につけることができるか ③ この授業に対する私の期待	〔講義計画〕 1. 前、後期を通じて、毎時間数名に2分間の英語でのspeechを課す 2. 前期にはdebateについて基本から学習し、様々な問題について、論理的に考えるとはどのようなことなのかということから始める。 3. 後期は実際にacademic debate (真剣勝負) に取り組む			
〔成績評価の方法〕 授業への参加度および各自4～5回の英語でのspeech、 <u>異日本審査</u> 、3回以上の欠席すると、単位は認められない	〔参考文献〕 Y. Matsumura 他 <i>Enjoy Debating</i> Eichosha			
〔教科書〕 T. Nishimoto <i>Both Sides Now</i> Seibido				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
翻訳研究 (旧 英・日語翻訳法)		通 期	4 単位	柳 父 章
〔講義概要・学習目標〕 翻訳は英文和訳とは違う。どういう風に違うかということ、翻訳はまず日本語でなければならない。英文和訳は、英語の勉強の必要上、教室内でつくられた特殊な日本語である。こういうことを、最初に講義する。 それからあと、下記の教科書の英文を、毎時間1ページくらい翻訳してきて提出してもらおう。これは毎時間の宿題である。 そして、提出された翻訳を訂正し採点して、できれば次の時間に返却したいが、これは参加者が多くなると不可能になるだろう。 目標は、翻訳することで、英文が精密に読み込めるようになり、また、日本語もしっかりと書けるようになること。 毎時間自分の翻訳を提出しなければならないので、きっちり出席しないと合格できない。	〔講義計画〕 まず教科書の英文を中心に翻訳の勉強をする。毎時間翻訳する分は少ないが、おもしろそうで、かなりむづかしい文章を選んである。			
〔成績評価の方法〕 毎時間提出してもらった翻訳を採点し、その総合で評価する。 期末試験はとくにおこなわない。	〔参考文献〕 私じしんの翻訳についての著書や論文があるが、それは随時授業の中で紹介していく予定である。			
〔教科書〕 Paul Stapleton New Perspectives Focusing on Human Life and Culture KINSEIDO 2004 ¥1,900 (生協で販売)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
学科特殊講義 (外国語の学習と教授)		秋学期	2 単位	ケビン グレグ Kevin R. Gregg
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
We all have had the painful experience of trying to learn a foreign language. Why is it so hard? Why don't we speak as well as a native speaker? What goes on in our heads, and in the language classroom? Is there a better way to teach foreign languages? In this class, we will look at some of the problems of learning and teaching a foreign language. This class will be taught by different members of the Faculty of Letters, and it will be conducted ENTIRELY IN ENGLISH. The lectures will be in English, homework will be in English, and reports and tests will be in English.	Tentative list of topics to be discussed (not necessarily in this order): What is grammar? Is Japanese that different from English? --Arikawa What do we know before we learn a foreign language? --Gregg Why can't I learn another language as well as my own? --Gregg Does age make a difference in learning a foreign language? --Gregg How Japanese grammar is taught in JSL classes --Tomozawa Teaching grammar through meaning --Carroll Teaching English pronunciation to Japanese speakers --Nanjo Language testing: item writing and item analysis --Shimada			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
Attendance is required at every class. There will be no final examination. Instead, there will be a number of short reports and quizzes--in English, of course.	To be announced in class.			
[教科書]				
There is no textbook for this course. Instead, each lecturer will prepare various handouts and other material, and will distribute them in class.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
マスコミの英語研究 (旧マスコミの英語)		通 期	4 単位	萬 戸 克 憲
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
現在日本および世界の各地で起こっている重要な問題について、英文雑誌TIMEの記事とアメリカCNNの放送の両方で学習する。 あわせて文字による表現と音声による表現の違いを学び、これらの問題について自分の考えを英語で積極的に表現できるように構成する。 この講義は途中で欠席すると効果があがらないので、欠席はしないように。	前期 Good Deeds on the Cutting Edge Shanghai's Strong Women Targetting The Big C 後期 Civillian Deaths: The bombs that keep on Killing The Real Deal Healthy Junk Food			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
授業への参加度,および4～5回の英語でのspeech 各課の終に提出する英語でのessay, および期末考査				
[教科書]				
Tom Power 他 World Topics: From TIME Reading to CNN News Listening Shouhakusha				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学とキリスト教 (旧キリスト教と英米文学)		通 期	4 単位	谷 本 泰 三
[講義概要・学習目標] 神と悪魔、信仰と疑惑、希望と絶望、死と復活、このような対極の間でバランスをとろうとする人間を描いた英米文学作品を取り上げる。その狙いは、英米文学史の底流となっているキリスト教思想や反キリスト教思想を検証して、キリスト教への理解を深め、優れた文学作品が思想に命を与える様子を見ることにある。作品から喜びや、恐怖、そして感動を体験して欲しい。講義は常に聖書に言及しつつ原作作品に密着して行う。指示された作品の原典を予習しておくことが必須となる。講義の詳細なアウトライン(学習ガイド付き)を用意しておくのでそれに従って予習するように。	[講義計画] 1 序論 講義開始に当たって 2 Easter 復活祭とは何か。聖書と復活 3 「ルカによる福音書」15章 4 E.E. Cummings "Buffalo Bill's defunct" 死を超えるイエス 5-7 A.Marvell "To his Coy Mistress" 生への空しい欲望 8 E.Dickinson "How happy is the little stone" 石ころは知っている 9 J. Donne "Death not be Proud" 死なんて怖くない 10 W. Wordsworth "We Are Seven" 永遠の命と無垢 11 J. Milton "On His Blindness" 絶望から希望への信仰 12 Milton "On the Late Massacre in Piedmont" 死と再生 13 R.Frost "Stoppin by Woods" 死と覚醒 14 春学期を振り返って 15-23 Hawthorne "Roger Malvin's Burial" 罪の代償とイエスの死 24 論文作成への注意			
[成績評価の方法] 春学期 小論文 秋学期 小論文 年間を通じて平素の努力点	[参考文献]			
[教科書] 聖書(キリスト教センター提供) Hawthorne Roger Malvin's Burial and Other Tales 開文社出版 谷本泰三「学習ガイド・講義アウトライン」				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
児童文学 (旧 英米の童話と童謡)		秋学期集中	4 単位	藤 森 かよ子
[講義概要・学習目標] (1) 英米民間伝承童謡を味わう: 英米文化を理解するために、必ず知っておかねばならないのが、「聖書」と「ウィリアム・シェークスピア」の演劇と「マザー・グース」と総称的に呼ばれる英国の民間伝承童謡である。「童謡」といっても、自然発生的にできたものが多いので、子供向きでも教育的でもない。現代人から見れば、残酷であるし、猥褻でもあるし、差別的でもある。わけのわからないナンセンス・ソングもある。しかし、注意深く考察すると、歴史の中でせいいっぱい生きてきた庶民の、むきだしの心が見える。映画や、ポップソングや、コマーシャルや新聞の見出しなどに、また文学作品などに、いかにマザー・グースが使われていることか！ (2) 児童文学の政治性を考える: 19世紀のオルコット『若草物語』と20世紀のトールキン『指輪物語』を題材に、非政治的に見える児童文学がいかに政治的で人心操作の道具であるか、考察する。	[講義計画] 第1回: 受講についてのガイダンス 第2回～19回まで: マザー・グースから70編の歌を、指定テキストとビデオを鑑賞しながら、英国の庶民生活の慣習を知る。同時に、英語の韻の種類や、基本的な英詩の形式を学ぶ。 第20回～22回: Little Women(『若草物語』)と家庭イデオロギー 第23回～25回: The Lord of the Rings(『指輪物語』)の世界観 最終回: まとめ			
[成績評価の方法] 出席と毎回のコメントペーパーと学期末試験から総合的に判断します。	[参考文献] 北原白秋訳『まざあ・ぐうす』(角川文庫・1976) 谷川俊太郎訳『マザー・グース』全4巻(講談社文庫・1981) 平野敬一著『マザー・グースの唄』(中公新書・1972) 渡辺茂編・著『マザー・グース事典』(北星堂・1986) 藤野紀男著『英文学の中のマザー・グース』(荒竹出版・1986) 藤野紀男著『マザー・グース案内』(大修館書店・1987) 鷺津名都江『わらべうたとナーサリーライム』(晩せい社・1992) 川端康雄『オーウエルのマザー・グース』(平凡社・1998) Iona and Peter Opie. ed., The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes(Oxford Univ.Press, 1997)			
[教科書] 安藤幸江注: 『Nursery Rhymesとビデオで楽しむマザー・グース』(北星堂、1997、1800円) ★ その他、適宜教材プリントを配布する。 ★ 受講者には、70編の唄が録音されたテープが配布される。				

注意: 教科書は、生協で一括購入してください。

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本文化研究 (日本思想の諸問題)		通 期	4 単位	三 宅 正 彦
【講義概要・学習目標】 日本近代の思想的特性を各分野から追究する。基本資料の読解を重視する。	【講義計画】 (1) 日本近代のアジア観 (2) 日本近代の伝統観 (3) 日本近代における天皇観の対立 (4) 日本近代における革命論の対立			
【成績評価の方法】 期末試験(講義に欠かさず出席して内容の理解に努めれば、単位取得は容易である。欠席したり授業に集中していなかったりすれば単位取得は困難である。)	【参考文献】 授業中にそのつど紹介する。			
【教科書】 資料を配付する。ただし、配付時に出席していた人に1回限りで配付する。そのとき欠席していた人には追加配付は行わない。資料をなくしたり持参するのを忘れたりした人に対して再配布はしない。毎時資料を持参しなければ授業理解は困難である。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本文化研究 (柳田国男を再読する)		秋学期集中	4単位	梅 山 秀 幸
【講義概要・学習目標】 今世紀初頭、柳田国男は二度にわたって、かなりの長期の岐阜県の調査旅行を行っており、その成果は『山の人生』および『毛坊主考』といった初期の作品の中に取り入れられている。その足跡をたどりつつ、柳田国男の叙述を読みなおすとき、かなりの「創作」といっていいものが見立つ。たとえば、『山の人生』の冒頭の「西美濃」の山奥の子ども殺しは、その実行者の後年の告白がたまたま残されていて、それと付き合わせると、実に出鱈目である。また、飛騨白川郷での農家の軒先の見聞から、『毛坊主考』は書き始められ、浄土真宗の揺籃期について論じているのだが、白川郷は江戸初期に高山に移った照蓮寺が勢力をふるった真宗王国であった。柳田国男の「勇み足」の意味を考えながら、山国の人々の精神生活に思いを致したい。合わせて、柳田のさまざまな方面での業績を通して、その思想の現代にもつ意味を考えてみたい。	【講義計画】 1、『秋風帖』を読む 2、『越前美濃紀行』を読む 3、『山の人生』を読む 4、「新四郎さの告白」 5、『毛坊主考』 6、一向一揆および真宗の発展について 7、飛騨というところ 8、飛騨の真宗 『岷江記』という書物 9、ネプタ考察 10、人柱について			
【成績評価の方法】 レポートを課す。	【参考文献】 『柳田国男全集』(筑摩文庫)			
【教科書】 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化研究 (韓国・朝鮮文化)		春学期集中	4 単位	青 野 正 明
〔講義概要・学習目標〕 近年、日本と韓国との交流が様々な分野で盛んになってきた。そのため、現代韓国に関心をもつ人たちが急激に増えている。そのような状況を踏まえて、この授業では現代韓国の理解に重点を置きながら、韓国・朝鮮文化一般を概説していく。具体的には、歴史・地理・宗教・言語・社会制度などの諸項目について、視覚資料の多い教科書を用いながら学ぶことになる。 知識として知ること必要だが、異文化の特質を見だし理解するための視座や学問的技術も併せて修得することを目指す。	〔講義計画〕 歴史 地理 宗教 言語 社会制度 風俗 集落と住居 衣服 料理と酒 美術 音楽 北朝鮮事情 また、在日韓国・朝鮮人の人権、日韓の歴史教科書問題や、韓国での日本の大衆文化「開放」についても講義する予定である。			
〔成績評価の方法〕 出席状況、受講態度、期末試験を総合的に評価する。	〔参考文献〕 必要に応じて授業中に紹介する。また、プリント類も配布し、ビデオ・写真等も見せる予定。			
〔教科書〕 金岡基監修『読んで旅する世界の歴史と文化・韓国』新潮社、1993年				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化研究 (東南アジアの生態と文化)		秋学期集中	4 単位	深 見 純 生
〔講義概要・学習目標〕 東南アジアの生活環境と文化の多様なありさまを紹介する。自然環境とこれに適應した生業にはじまって、東南アジアの文化を幅広く紹介する。文化の表層ではなくその基礎にあるものを見きわめたい。 東南アジアははてしなく複雑多様だけれども、それをできるだけまとめた形で捉えなおしてみる。そうすることで、東南アジアという一つのまとまりが見えてくることを期待し、さらに、それが日本とよく似ていること、似ているけれどやはり異なることもわかってほしい。 なお、東南アジア全域を対象とするがインドネシアなど島々の世界が中心になる。またビデオ資料を用いる。	〔講義計画〕 生活環境 ― 島の熱帯の生態学。環境と生業 文化の多様性 ― ①民族分布、宗教分布の複雑さ ②精霊信仰と「宗教」のはざままで ③森と海に生きる。都会に生きる ④日本との共通性 東南アジア文化史二千年 ― 基層文化から国民文化まで。 文化遺産 ― 主な遺跡			
〔成績評価の方法〕 時々の小レポートと期末試験を総合して評価する。	〔参考文献〕 綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたい東南アジア』弘文堂 1994 京都大学東南アジア研究センター編『事典東南アジア 風土・生態・環境』弘文堂 1997 上智大学アジア文化研究所編『入門東南アジア研究』めこん 1992.			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化研究（中国の知的遺産）		秋学期集中	4 単位	串田 久治
[講義概要・学習目標] 漢詩でスローライフ 本講義は中国の知識人の生き様を通して、人生の悲哀を克服して心豊かに生きる方法を模索する授業です。 言うまでもなく、中国の知識人とは、官僚（政治家）であると同時に詩人であり、画家であり、文章家でもあります。彼らの多くは政治的挫折を経験し、あるいは家族の不幸に遭遇した時、何を思い何を考えたか、人生の悲しみ・苦しみをいかにして乗り越えて生を全うしたのかを知り、将来に資することがこの授業の目的です。 そのため、本講義はただ聞いているだけの講義ではありません。学生諸君の積極的なアプローチと深い思索が要求されます。具体的には、学生諸君が数名のグループに分かれ、グループで討議したことを発表し、全員でディスカッションし、その後に各自が自分の考えをまとめてレポートして提出することになります。	[講義計画] I 生きる悲しみ・苦しみ 1 「故郷」 2 出会いと別れ 3 「敗北」 4 「正義」 II 生きる喜び・楽しみ 1 恋と結婚 2 家族 3 飲食 4 四季 5 老い			
[成績評価の方法] 出席・レポート（複数回）・プレゼンテーション・ディスカッションへの積極性などにより総合的に評価する。	[参考文献] 林語堂著『支那のユーモア』（岩波新書） 林語堂著『中国＝文化と思想』（講談社学術文庫） 串田久治著『儒教の知恵―矛盾の中に生きる』（中公新書） 串田久治著『中国古代の「謡」と「予言」』（創文社） 串田久治著『天安門落書』（講談社現代新書） KUSHIDA'S WEB SITE			
[教科書] 串田久治・諸田龍美著『ゆっくり楽に生きる 漢詩の知恵』（学研） 定価 1400円				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究（ロシア文化）		春学期集中	4 単位	国 松 夏 紀
[講義概要・学習目標] ヨーロッパ vs. アジア、後進性 vs. 先進性、強固な規範 vs. 激しい逸脱、聖 vs. 俗、限らない夢想 vs. 現実主義、... 様々な局面において相矛盾する要因をばらむロシアとその文化を歴史的に検討する。 おそらくは、極めて図式的ではあるが、これら矛盾の「止揚」こそがロシアとその文化なのである。さらに一般的にも、「文化」とは様々な局面での「接触」における対立解消装置・機能であろうとの見通しのもと、講義をすすめる。	[講義計画] 下記参考文献の枠組みを借用し、 I. 背景 10世紀～13世紀 II. 接触 14世紀初期～17世紀初期 III. 教会分裂の世紀 17世紀中期～18世紀中期 IV. 貴族文化の世紀 18世紀半ばから19世紀半ば V. 新しい岸辺へ 19世紀後半 VI. 不安定な巨像 20世紀 * 各項につき3～4講の予定。ただし、講義の流れに応じて、若干の計画変更はあり得る。また、下記参考文献の枠組みを越える範囲、とりわけソ連崩壊後に関しては、講義において補足する。			
[成績評価の方法] 秋学期末レポートにより評価します。1回きりですので、力作を期待。ただし、講義の区切れ目ごとに確認のためもあり「感想文」を提出。これも評価の対象とします。出席重視、遅刻・私語厳禁。	[参考文献] ジェームズ・H・ピリントン著（藤野幸雄訳） 『聖像画と手斧 ロシア文化史試論』 勉誠出版株式会社 2000年5月刊（原著は1966年刊）			
[教科書] 特に定めません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究 (西洋中世文学史)		秋学期集中	4 単位	米 山 喜 晟
〔講義概要・学習目標〕 この授業は、ヨーロッパ中世の文学の概説にあてる。たがその前に、当時の書物とはどんなものだったかを、紙や筆記用具の歴史などとともに簡単に眺めておく。また古代ローマ文学の遺産として、ゴート族の支配下のポエティウス『哲学の慰め』などにも触れて、古代との連続性をも考えたい。それから年代記や歴史の類いをいくつか眺めた後、『ローランの歌』に代表される叙事詩をはじめトロバドゥールの代表的叙情詩、修道院文学の代表『アベラールとエロイズ』、そして『バラ物語』、ファブリヨールから『神曲』、ペトラルカ、そしてイタリア・ノヴェッラやフランソワ・ヴィヨン、チョーサーなど、翻訳の抜粋、時には英訳などを用いて具体的に西洋中世の文学史をたどっていく。	〔講義計画〕 本の歴史と紙や筆記用具について 3～4 時間 神話や西欧の古い歴史、年代記 2～3 時間 叙事詩 3～4 時間 叙情詩 2～3 時間 修道院文学 2～3 時間 『バラ物語』等 1～2 時間 ファブリヨールとイタリア・ノヴェッラ 3～4 時間 ダンテ、ペトラルカ、ヴィヨン、チョーサーなど 3～4 時間			
〔成績評価の方法〕 出席点と二度のレポートによる評価。今年はたびたびテキストを輪読してもらうので、出席点を重視したい。	〔参考文献〕 筑摩書房：世界文学大系 6 5 中世文学集 6 6 中世文学集 2			
〔教科書〕 プリント配布				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究 ヨーロッパの騎士道		春学期集中	4 単位	岩 津 洋 二
〔講義概要・学習目標〕 ヨーロッパの騎士道文化について講義する。騎士道は中世末期に成立するが、爾来その理念はヨーロッパの男性の理想像に大きな影響をあたえてきた。歴史的には騎士の社会的な機能が失われてしまっから、騎士道的人間観は生きつづけ、英国のジェントルマンなどに引き継がれた。騎士道の成立に役買った騎士道物語の類型は、今日でもなお「ドラゴンクエスト」などのゲームや「スターウォーズ」「ハリー・ポッター」などの映画や物語に踏襲されて、人気を博している。 歴史のなかの現実の騎士の姿と騎士道物語のなかの騎士の落差や、ヨーロッパ近代の騎士道への憧れは、ヨーロッパ文化の特質を明らかにし、その人間観を理解するための格好の素材である。「騎士道から見たヨーロッパ文化」といった講義になるだろう。 講義の理解のために、パワーポイントによる資料の提示のほかに、「騎士道もの」の映画も見ると予定である。	〔講義計画〕 1. 騎士の歴史 2. 騎士のキリスト教化 3. 騎士道の成立 4. 騎士道物語 5. アーサー王伝説 6. ヨーロッパ文化における騎士道の意義 7. 騎士道と武士道 8. 近代社会における騎士道 (第 1 回目の講義で、より詳細な講義計画を示す)			
〔成績評価の方法〕 講義への参加度・提出物・何回かのテストによる総合的評価	〔参考文献〕 マロリー『アーサー王の死』ちくま文庫			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究 (フランス文化の諸相)		秋学期集中	4 単位	ロー・ヤマサキ・アニー
〔講義概要・学習目標〕 ぎょう 現在のフランス人のライフスタイル や 思考傾向などについて、色々な アスペクトを通して説明いたします。	〔講義計画〕 ●イギリス人のフランス人 フランス人は自分の外観をどのように意識しているか フランスの礼儀作法 ●フランスの家文化 男女のあり方 若者たち 日常生活 ●フランスの社会 社会生活 価値観 ●仕事とレジャー 定年労働 休みの時間とウツカンス ●その他			
〔成績評価の方法〕 平常点と期末試験で評価します。	〔参考文献〕 草場 安子 『現代フランス情報辞典』 大修館書店			
〔教科書〕 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アメリカ文化研究 (民主主義・宗教・音楽) (旧アメリカ文化研究)		通 期	4 単位	谷 本 泰 三
〔講義概要・学習目標〕 何もないうちに見えていた新大陸にヨーロッパから移民たちが渡った時から、せいぜい300年くらいの間にヨーロッパ諸国に伍して世界をリードする超大国を作り上げたアメリカ人とは一体何なのか。アメリカ人はどのようにしてアメリカ人になったのか。そのエネルギーの本質はどのようなものなのか。アメリカには文化というにふさわしいものがあるのか。このような問題を民主主義・宗教・音楽 (民謡・フォークソング・ゴスペル) の三つのテーマに絞って考えながら指示された教材を検討し、これを補足し、批判し、さらに解説を加えながら講義を進める。前期の終わり頃にはゲスト講師を招待、アメリカの民謡やフォークソングについての講義を聴く機会を持ちたいと考えている。	〔講義計画〕 1-9 アメリカ革命と民主主義 10-12 アメリカの音楽 13-16 西部開拓 17-23 宗教：アメリカ文化の根底 24 まとめ			
〔成績評価の方法〕 クラスでの発言、クラスへの貢献度等、平素の努力を高く評価する。 期末試験またはレポート。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 Henry B. Parkes 著 The American Experience 研究社出版				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本文化史		春学期集中	4単位	梅山秀幸
〔講義概要・学習目標〕 桃山学院の近くの久保惣美術館には重要文化財の『伊勢物語絵巻』がある。その『伊勢物語』の中で高らかに称えられる「みやび」の美意識は「ひなび」との対比の上で成り立った美意識である。端的に言えば、それは都風の恋愛作法を意味するが、それが洗練されて『源氏物語』の「もののあはれ」となり、さらに深まり、爛熟して行き場もなくなって退廃していく姿を『とほずがたり』の中に見ていきたい。隣の朝鮮王朝にも宮廷文学はあったが、それは恋愛あるいは姦通を扱わない。主題は党争であり、「ハン＝恨」の世界が繰り広げられる。朝鮮の宮廷物語をも紹介しながら、日本の恋愛の文化史的意義を考えてみたい。	〔講義計画〕 1、久保惣美術館の『伊勢物語絵巻』 2、「みやび」と「ひなび」 3、宮廷風恋愛 (amour courtois) 4、『源氏物語』と姦通 5、「もののあはれ」 6、『大鏡』の「やまとだましる」 7、『とほずがたり』のモラルと関東武士の「妻敵討ち」 8、朝鮮宮廷小説 9、「ハン＝恨」と「もののあはれ」			
〔成績評価の方法〕 期末試験による。出席も考慮する。	〔参考文献〕 授業時に指示します			
〔教科書〕 なし				

《インテグレーション科目》

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
総合人間学		通期	4単位	寺 木 伸 明
〔講義概要・学習目標〕 20世紀に多くの学問で専門分野の細分化が起き、さまざまな「学」が生まれた。しかし、個別の「学」では、今日の人類が直面する地球環境、人口、教育、人権などの諸問題に十分答えることができない。21世紀には、学際的な人間に関する、新たな総合学が必要とされる。 この講義は上述のような学問的要請に応じて、複数の講師によって行われる「インテグレーション」科目として実施される。自然科学と人文・社会科学の最新の研究成果を踏まえながら、新たな学際的総合教育をめざす。ここで人間とは、生物種ヒトとその文化の双方を含み、現代文明のもとでさまざまな問題に直面しながら、科学・技術、法律、教育、芸術、宗教などを生み出している主体ととらえる。文化の多様性・相対性を認めつつも、異なる文化を持つ人々の間での共通性を解明することによって、ヒューマニズムとは何かという人間学の目標にも迫っていきたい。	〔講義計画〕 複数の講師によって実施されるインテグレーション科目で、内容は次のとおりである。 1. ヒト学入門：自然におけるヒトの位置、ヒトの行動の進化、ヒトの地理的多様性の理解 2. 異文化理解：東西文化の特徴と地理的条件、民族性、文化摩擦と国際交流の理解 3. 人間思想史：東西の哲人が語った人間像の理解と、人間理解の哲学的アプローチの理解 4. 国際人権論：アイヌをはじめとする世界の少数民族と先住民族の文化と歴史・現状、インド・日本などにおける身分差別の歴史と現状、人権に関わる国連の活動と国際法の理解 5. 文学とヒューマニズム：愛・孤独・不安・挫折・苦悩等とヒューマニズム文学作品のもつ人間性へのメッセージの理解			
〔成績評価の方法〕 期末試験の点数に出席点を加味して総合的に評価する。	〔参考文献〕 尾本恵市『ヒトはいかにして生まれたか』岩波書店、1998年 尾本恵市編著『人類の自己家畜化と現代』人文書院、2002年			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化研究（世界の多様なメディア） （旧比較文化特講（世界の多様なメディア））		春学期集中	4 単位	小池 誠
〔講義概要・学習目標〕 この講義の目的は世界の多様なメディアを取り上げて、ふだん身近に接している日本のメディアとの比較を通して、世界の多様なメディアについて学び、メディアとそれを創り出す社会・文化との関係を考えることである。また、グローバリゼーションが進む現代世界におけるメディアの変容についても考えてみたい。 この授業では、ふだん目にすることのない海外の映画（インド映画・インドネシア映画など）とテレビ番組（カタール・オランダなど）だけでなく、身近な日本の海外文化紹介番組も取り上げて、さまざまな角度からメディアにアプローチしたい。 テレビ番組と映画をただぼんやりと見るのではなく、それぞれの歴史的・社会的・文化的な背景を考えながら、メディアを批判的・分析的に見る目、すなわちメディア・リテラシーを身につけてもらいたい。	〔講義計画〕 1 メディア・リテラシーとは何か？ 2 メディアと戦争：アメリカとアラブのテレビ・ニュース 3 異文化の表象：日本のメディアは「海外」をどのように描くか？ 4 メディアのグローバル化：日本製アニメの海外進出 5 映画の比較研究：インド映画はハリウッド映画とどう違うか？ 6 世界のメロドラマ：韓国からインドネシアのドラマまで 7 世界のテレビ放送 8 まとめ			
〔成績評価の方法〕 平常の出席と期末試験の成績をもとにして評価する。また、必要に応じて提出を求める小レポートの内容も加味して成績をつける。	〔参考文献〕 講義のなかで必要に応じて紹介する。			
〔教科書〕 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化研究（猿鬼合戦・日米戦争漫画考） （旧比較文化特講（猿鬼合戦・日米戦争漫画考））		春学期集中	4 単位	フィリップ ビルンズリー Philip Billingsley
〔講義概要・学習目標〕 第一回イラク侵略（いわゆる「湾岸戦争」、1990 年）のときに意義深い漫画がアメリカで流行った。生き物をランキングする風刺画のようなもので、上から順番にハリウッド俳優のクラーク・ゲイブル、猿、蛇、そしてイラクの元大統領サダム・フセインが縦に並んでいた。白人男性が進化の最終到達点であり、アメリカの敵は人間以下というメッセージを含んでいた。面白いことに、今から 60 年前に勃発した太平洋戦争のときにも同じような風刺漫画が敵国同士のアメリカと日本で流行った。 平和の中で育った世代にとって戦争と漫画は結びつかないかも知れない。しかし、戦争のとき自国民を掻き立て、兵隊をより無慈悲に戦わせるためには敵国民を人間以下存在に見せることは政府にとって欠かせない手段で、そのもっとも有効な方法は漫画。太平洋戦争のときアメリカ・日本両政府は容赦なく相手を漫画で風刺していたが、それぞれの漫画に登場した中心的な生き物は違った。アメリカの漫画に登場した「猿」に対して、日本の漫画に圧倒的に多かったのは「鬼」だった。要するに、太平洋戦争は「猿・鬼合戦」だった。 この講義では、それぞれの国の戦争漫画を比較することによって日本とアメリカ（あるいは西洋の世界）の文化の比較を試すと同時に、漫画と戦争との関係を探る。「目からうろこが落ちる」話しによって、受講生の関心を刺激し、「楽しい体験」をさせるのはこの講義の目的。 しかし、ネックがある。話しは英語で行うからだ。多くの受講生にとって初めての体験かもしれない。「難しい！」「無理！」という声ですぐに聞こえてくる気がするけれどももう少し付き合ってください。当然通じない講義をやっても仕方がないのでどの受講生も（その気になれば）聞き取れるように、ありとあらゆる工夫（ゆっくり話したり、キーワードを配ったりすることなど）をする。安心して受講してみてください。	〔講義計画〕 学期の前半でアメリカの戦争漫画を紹介しその背景を説明する。後半では日本に焦点を移し、日本の漫画とその背景を紹介してから両側を比較してみる。			
〔成績評価の方法〕 ヒアリング能力を磨くため毎回出席が大前提。そのほかに提出物もあり、期末テストも行う。	〔参考文献〕 キーワードやイラストを含めたプリントを毎回配る。			
〔教科書〕 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化研究（色彩から見る東西社会史） （旧 比較文化特講（色彩から見る東西社会史））		秋学期集中	4 単位	フィリップ・ビリングズリー Philip Billingsley
〔講義概要・学習目標〕 一つの国・文化の色彩感覚から多く学ぶことが出来る。好むものと好まざるものと「是」と「非」と「外」と「内」のなかには色表現に表れる。しかし、ある色が表す意味合いは文化によつて違ってくる。例えば、日本語の「腹黒い」は英語の「black-hearted」におよそ相当するが「色白」は英語の「white-faced」とはまったく違った意味になるし、「赤心」（英語で「red heart」）は意味をなさない。英語では「black lies」と「white lies」の区別ははっきりしている。「Yellow Peril」（「黄禍」）や「Red-Letter Day」（「記念すべき日」）という表現もある。中国語では嫉妬することは「紅眼病」にかかるという、パソコンのハッカーのことを「黑客」という。また、京劇ではそれぞれの配役の善・悪などは顔の化粧の色で表される。 この講義ではヨーロッパ・日本・中国それぞれの色彩感覚を見つめることによつて三つの文化を比較していきたい。そのなかで特に焦点を当てたいのは人種意識と色彩感覚との絡み合いで、「黒」と「白」がそれぞれどの文化で持つ意味合いを追求する。「目からうろこが落ちる」話しよつて、受講生の関心を刺激すると同時に「楽しい体験」をさせるのはこの講義の目的。 しかし、ネックがある。講義は英語で行うからだ。多くの受講生にとつて初めて体験かもしれない。「難しい!」、「無理!」という声がすでに聞こえてくる気がするけれどももう少し付き合ってください。当然通じない講義をやつても仕方がないのでどの受講生も（その気になれば）聞き取れるように、ありとあらゆる工夫（ゆつくり話したり、キーワードを配ったりすることなど）をする。安心して受講してみてください。	〔講義計画〕 それぞれの文化圏の色彩表現を紹介してから、「白」と「黒」に焦点を当てて人種意識と色彩感覚の絡み合いを追求する。			
〔成績評価の方法〕 ヒアリング能力を磨くため毎回出席が大前提。そのほかに提出物もあり、期末テストも行う。	〔参考文献〕 キーワードやイラストを含めたプリントを毎回配る。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化研究（彫刻の世界） （旧比較文化特講（彫刻の世界））		秋学期集中	4単位	林 宏作
〔講義概要・学習目標〕 すべての観察は比較ということの上に成り立っている。比較するということは、その座標として、比較が行われるための一定のカテゴリーを前提とする。この講義では、エジプト、ギリシア、インド、東アジアなどにおける彫刻の特徴を概述し、比較芸術学の方法を明らかにしたい。	〔講義計画〕 1. 比較芸術学の課題と研究領域 2. エジプトの彫刻 3. ギリシアの彫刻 4. ローマの彫刻 5. 仏像に関する諸問題 6. 彫刻の素材			
〔成績評価の方法〕 出席状況、レポート、テスト結果に基づいて総合的に評価する。	〔参考文献〕 『近代芸術学の成立と課題』 吉岡健二郎著、創文社 『芸術の世界』 井島 勉編、創文社 『原色 日本の美術』 小学館 『中国美術全集・彫塑編』 人民美術出版社			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文明論		春学期集中	4 単位	串田 久治
〔講義概要・学習目標〕 二十世紀後半、西欧文明を見直して非西欧文明の価値を組み込む新しい関係概念と望ましい方向性を探究しようと、ヨーロッパに「比較文明」が誕生しました。知の総合を目指す新しい学問です。 一方、西欧文明の普遍的価値を信じていたアジア諸国は、それが必ずしも世界に普遍的な価値ではないことを知り、ようやくアジア独自の文明・文化の価値観に目を向け始めました。そして、2001年、国連はこの年を「文明間の対話年」とし、二十一世紀の第一ページを飾ったのです。 ところが現実世界は今なお「文明間の対立」が深く、それは今後ますます激化するであろうと予測する研究者もいます。 本講義は世界の文明・文化を単に「比較」して「普遍的な文化」を求めるものではありません。古代中国文明が提起する様々な問題（講義で紹介する）を足がかりにして、「人間の普遍性」を共に考える授業です。したがって、ただ聞いているだけの、黒板との一方通行の講義ではなく、学生諸君のプレゼンテーションとディスカッションなどによって、学生諸君が主体となる授業です。		〔講義計画〕 I 比較文明序説 1. The Perfect European should be…… 2. 「スイカ」は何語？ 3. 中華思想とユニラテラリズム 4. 異文化・多文化 ― 「無用の用」 II 「人間の普遍性」を求めて 1. あなたにとって「家族」とは？ 2. あなたに復讐心はありませんか？ 3. あなたは結婚にどのような条件をつけますか？ 4. あなたはどのような場合に離婚を決意しますか？ 5. あなたは理念と現実とのギャップに苦しんだことがありますか？		
〔成績評価の方法〕 出席・レポート（複数回）・プレゼンテーション・ディスカッションへの積極性などにより総合的に評価する。		〔参考文献〕 I KUSHIDA'S WEB SITE 青木保著『異文化理解』（岩波新書） 青木保著『多文化世界』（岩波新書） 藤原一著『デモクラシーの帝国』（岩波新書） ノーム・チョムスキー著『メディア・コントロール』（集英社新書） II KUSHIDA'S WEB SITE 梅棹忠夫著『文明の生態史観』（中公文庫） 森谷正規著『文明の技術史観』（中公新書） サミュエル・ハンチントン著『文明の衝突』（集英社） 伊東俊太郎『比較文明』（東京大学出版会）		
〔教科書〕 串田久治著『儒教の知恵 ― 矛盾の中に生きる』（中公新書） 定価 760円				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代思想		春学期集中	4 単位	岩 津 洋 二
〔講義概要・学習目標〕 私たちは人生の途上でさまざまな恐怖に遭遇する。爆弾テロを怖がり、地震を怖がり、お化けを怖がり、友達から嫌われるのが怖がる。じつにさまざまな恐怖が私たちの生活につきまとい、恐怖ゆえに、私たちはしたいことを思い止まり、したくないことをあえておこなっている。しかし、私たちの行動の決定にかくも深くかかわっている恐怖がどのようなものであるかについて正しく認識している人は少ない。 この講義は、哲学のみならず、心理学・生理学・民族学・民俗学などの多様な視点から、恐怖を解明し、その作業をとおして、恐怖にとらわれている自分を見つめなおし、恐怖から自分を解放し、より自由になるための手がかりをさぐるという実践的な課題を追求する。恐怖とはなにかを明らかにすることによって、世界と自分自身を再発見する試みといってもよい。		〔講義計画〕 1. なぜ恐怖を問題とするのか 2. 恐怖とは何か 3. 恐怖はどのような心理か 4. 人間の恐怖と動物の恐怖はどのように異なるか 5. 文化によって恐怖は異なるか 6. なぜ日本人には対人恐怖症が多いのか 7. 日本人は何を怖がってきたのか 8. 近代社会は恐怖対象を減らしたか 9. なぜ国家は恐怖を必要とするか 10. 恐怖コミュニケーションとは何か 11. 集合的恐怖とはどのようなものか 12. なぜ恐怖に接近する人がいるのか 13. 恐怖にどのように対応したらいいのか （第1回目の講義で、より詳細な講義計画を示す）		
〔成績評価の方法〕 講義への参加度・提出物・何回かのテストによる総合的評価		〔参考文献〕 授業中に指示する。		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
応用言語学		秋学期集中	4 単位	橋 内 武
〔講義概要・学習目標〕 応用言語学は、1940年代後半から50年代前半にかけて言語学の異言語教育への応用として成立したが、現在では学際的言語学として言語学と隣接科学の中間領域に位置づけられている。その他に、言語問題の学という立場や「ことばの職業」研究であるという立場もあり、一筋縄ではいかないのが、応用言語学である。本講では、これら4つの応用言語学についての基本事項を講ずることをもって応用言語学への誘いとする。履修者にことばの多面性に気付いてもらい、将来日本語教師や言語聴覚士などのことばの職業に就くために必要なことばに対する見方を養ってもらうことが、学習目標となる。	〔講義計画〕 1. 応用言語学とは何か ― 課題と方法 2. 言語問題の学 ― 言語障害、言語の消滅、ことばの乱れ、誤訳 3. 異言語教育学 ― 教授法、教師・学習者、教材、辞書、評価 4. 学際的言語学 ― 神経言語学、心理言語学、人類言語学、社会言語学、法言語学、経済言語学など 5. 「ことばの職業」研究 ― 日本語教師、言語聴覚士、通訳英語教員			
〔成績評価の方法〕 期末試験による。	〔参考文献〕 白畑知彦ほか著、『英語教育用語辞典』、大修館書店、1999。 ジョンソン・ジョンソン編（岡秀夫監訳）、『外国語教育学大辞典』大修館書店、1999。			
〔教科書〕 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
民俗学		春学期集中	4 単位	橋 内 武
〔講義概要・学習目標〕 庶民の伝承文化を観察・記述するのが民俗学である。本講では、まず民俗学とは何かという問いに答えたあと、さまざまな伝承文化について解説する。究極的には伝承文化への興味と関心を抱いて、履修生諸君が自ら身近な民俗事象への考察を進めることができるようになることをその学習目標とする。	〔講義計画〕 1. 民俗学とは何か ― 民俗学の課題と方法 2. 人生儀礼 ― 誕生から葬送まで 3. 年中儀礼 ― 盆と正月 4. 俗信 ― 予兆・卜占・禁忌・呪術 5. 昔話 ― タイプと研究方法			
〔成績評価の方法〕 期末試験による。	〔参考文献〕 福田アジオ他編、『講座 日本の民俗学』、全11巻、雄山閣出版。 福田アジオ他編、『日本民俗大辞典』、全2巻、吉川弘文館。			
〔教科書〕 稲田浩二・稲田和子編著、『日本昔話100選』、講談社。 新谷尚紀編著、『民俗学がわかる事典』、日本実業出版社。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化史		春学期集中	4 単位	原山 煌
〔講義概要・学習目標〕 日本人の内陸アジア地域に対する知識はどのように形成されてきたのか。この問題は現代アジアの一員として一定の役割を期待されている私たちが、知っておいていいテーマであろう。明治時代の開始とともに、中国ならびにその周辺地域に出かけていった日本人は、その地で何を見、何を感じたのか。そのような経験の積み重ねが、「満鮮」とか「満蒙」、さらには「支那」などという独特の政治用語を生み出し、「大東亜共栄圏」などという枠組みが作り上げられ、普通のこととして論じられるようになる。特に中央アジア地域については、19世紀後半から激化する西欧諸国の「探検レース」ともいうべき風潮と複雑に絡まりあう。この講義では、明治以来日本人が、中国の周辺に位置する内陸アジアをどのように体験してきたのか、その経験の中から出てきたアジアに対する視線はどのように変貌してきたのかなどを、史料（資料）を紹介しながら考えてゆく。	〔講義計画〕 1. この授業の目的と講義の進め方の説明 2. 日本人の前近代におけるアジア理解 3. 中国とその周辺諸地域の近現代史概観 4. 明治時期の日本人旅行者の多様な記録を考える 5. 私たちの考えるべきこと			
〔成績評価の方法〕 授業への理解度と出席状況を確認するため毎回小テストを行い、随時課すレポート（参考文献を3冊以上参照したオリジナルな論考）と、学期末の定期試験の成績によって総合的に評価する。	〔参考文献〕 トピックごとに配布資料を用意するほか、参考文献を随時紹介する。			
〔教科書〕 特に指定しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋文化史		秋学期集中	4 単位	岩 津 洋 二
〔講義概要・学習目標〕 今日のヨーロッパはEU（欧州連合）として統合されつつある。各国人意識を越えた「ヨーロッパ人」意識をもつ人々も増大しているが、他方では、それぞれの民族の文化的伝統の独自性をまもろうとする運動も高まりを見せている。この講義は、おおきく変貌しようとしているヨーロッパを全体的にとらえ、ヨーロッパ文化の現在を理解するための枠組みを提示することを目的とする。 したがって、建築や美術といった特定の文化的な領域の歴史をたどるような講義ではない。多くの日本人にとって憧れの的であったヨーロッパの、一般にはあまり注目されてこなかった側面にも焦点を当てながら、その文化的特質について考察する。授業はパワーポイントによる多数の資料を提示しながらおこなう。 近代の日本人の西洋への無批判的な憧憬を解体し、西洋を冷静に見直すきっかけとなる講義にしたいと考えている。	〔講義計画〕 I. 西洋文化史の課題と射程 II. 西洋文化の伝統と近代 III. 西洋の統一性と多様性 IV. 西洋の自己規定 V. EUのもとでのヨーロッパ （第1回目の講義で、より詳細な講義計画を示す）			
〔成績評価の方法〕 講義への参加度・提出物・何回かのテストによる総合的評価	〔参考文献〕 授業中に指示する。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教史		春学期集中	4 単位	伊 藤 高 章
〔講義概要・学習目標〕 キリスト教はユダヤ教から派生し、イスラム教はユダヤ教とキリスト教から派生した宗教である。本講義では、他宗教の関連の中にキリスト教を位置づけるとともに、キリスト教自体の多様性を学ぶ。さらに仏教も含めた諸宗教の人類史における役割について理解を深めることを目的とする。 また、現代の諸問題とキリスト教をはじめとする宗教とがどのように関わっているのかを、医療や人権の問題を取り上げて紹介する。	〔講義計画〕 以下のテーマを含む 現代社会における宗教（キリスト教・ユダヤ教・イスラーム教） ユダヤ教の歴史 キリスト教の歴史 キリスト教と日本人 現代社会と宗教 科学と宗教			
〔成績評価の方法〕 学期末レポート	〔参考文献〕			
〔教科書〕 宮本久雄・大貫 隆 編『一神教文明からの問いかけ』講談社 2003 日本聖書協会『聖書』（共同訳、新旧約）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋思想史		春学期集中	4 単位	山 川 偉 也
〔講義概要・学習目標〕 「プラトンを読む」と題し、ソクラテス的対話篇に続くプラトン独自の思想が展開される対話篇のうちから代表的作品を選び、その解題を行うかたわら、いっそう立ち入ってプラトン独自の思想を解明することへ向かう。そうすることによって、また、西欧思想の根本構造に迫ろうとする。その意味で、この講義は西欧思想へのプレリュードの意味をもつことになるだろう。	〔講義計画〕 プラトンの生い立ち、西洋思想上の位置づけ、その現代的評価等について述べる序論の部から始め、次第にプラトン対話篇そのものに入っていくことにする。読まれる対話篇としていまのところ予定しているのは、『メノン』、『パイドロス』、『シュンポシオン』、『パイドロス』、『国家』、『パルメニデス』、『ティマイオス』である。			
〔成績評価の方法〕 授業中に行う小テスト、レポート、期末テスト、出席率等を勘案して総合的に評価する。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 山川偉也著『古代ギリシアの思想』講談社学術文庫				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋古典語（ギリシア語） （旧ギリシア語）		通 期	4 単位	木 下 昌 巳
〔講義概要・学習目標〕 古代ギリシア語は、学問の発展や文学、哲学、科学、芸術など、多くの分野で重要な役割を果たしている。本講義では、ギリシア語の基礎的な文法と語彙を学び、その文化や歴史についても理解を深める。また、現代の学問や文化にどのように影響を与えているかについても学ぶ。学習目標は、基礎的な文法と語彙を習得し、簡単な文法問題を解くことができるようになること、そして、ギリシア語の文化や歴史について理解を深めることである。				
〔講義計画〕 アルファベットの学習から始め、初級文法を完了する。				
〔成績評価の方法〕 授業への出席は必須。出席と授業中の小テストによって成績を評価する				
〔参考文献〕 授業中に随時指示する。				
〔教科書〕 初回の授業で指示する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋古典語（旧ラテン語） （ラテン語）		秋学期集中	4 単位	ゴンザレス ダリオ GonzalesDario
〔講義概要・学習目標〕 （学習目標） ラテン語の基礎的な知識の習得を目指す。 （講義概要） ヨーロッパの共通語的存在であったラテン語は、2千年余りの歳月により、今やフランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ルーマニア語、等に変身しているが、西洋文明や歴史文化の謎を解くための鍵になる言語である。又、英語の辞書を開けば、多くの語彙がラテン語から影響していることを知り、母なる言語の由縁が自然に理解できる。 講義は、ラテン語の基礎的な文法の理解と、現代ヨーロッパの諸言語の共通点を知るためにラテン語の歴史概要についても触れる。又、ラテン語に出来るだけ親しんでもらう為に視聴覚教材を活用するつもりである。				
〔講義計画〕 （前期）1・ラテン語の起源と歴史 2・発音と読み方 3・基礎的な文法事項 （後期）1・ラテン語からの派生語 スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語等 2・身近なラテン語 音楽と雑誌 3・簡単な日常会話				
〔成績評価の方法〕 出席日数、レポートの総合評価とする。				
〔参考文献〕 松本悦治（著）「ラテン語入門」（駿河台出版社）				
〔教科書〕 プリント配布。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学技術史		秋学期集中	4単位	松 永 俊 男
[講義概要・学習目標] 西洋科学の流れを概観し、日本における西洋科学の受容について述べる。 西洋科学の源流は古代ギリシアにある。講義ではまず、ギリシアで科学が生まれた経過を探求し、ギリシア科学がイスラム文化圏で受け継がれ、発展した経過を追う。ついで、イスラム文化の導入により、ヨーロッパで科学革命が起こり、近代科学が発展していった経過を述べる。 講義の後半では、江戸時代に主としてオランダ語を介して西洋の科学が日本に導入された経過を追い、明治以降の西洋科学の導入について考察する。	[講義計画] 1. 古代ギリシアの科学 2. イスラムの科学 3. 12世紀ルネサンス 4. 17世紀科学革命 5. 18世紀の科学 6. 19世紀の科学 7. 20世紀の科学 8. 南蛮学、蘭学、洋学 9. 近代日本の科学			
[成績評価の方法] 受講生は多くないと予想されるので、平常点のみで評価する予定。したがって、出席が重視される。	[参考文献]			
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会言語学（旧 言語文化特講（社会言語学））		通期	4単位	大原 始子
[講義概要・学習目標] 日常、「ことば」は人間にとって空気のような存在であるため、その変化や使用の様子に注意を向けずにいることが多い。社会的要因と深く関わりながら、「ことば」は様々な姿を変えて存在し、日々変化している。また、話し手は、所属する文化や社会の慣習にそって、「状況」、「相手」、「話題」にふさわしい「ことば」を選択している。このように、言語、変種、スタイルについて、誰が、どこで、どのように使い分けるかに注目し、分析していく研究が社会言語学である。 本講義では、前期は、多様な言語社会の形態を知ること重点を置き、マクロ的な側面を学習していく。後期は、言語の多様性と語用論的分析などミクロ的な研究を紹介しながら進めていく。専門的な内容に入るため、言語学、英語学の基礎知識があることが望ましい。社会学、文化人類学、社会心理学などと深く関わる学際的な学問領域なので、幅広い関心を持って、講義に取り組んでほしい。	[講義計画] <前期> 言語と方言；国語、公用語、共通語、標準語 「日本における第二公用語化」 アメリカ、オーストラリア、アジア、アフリカの社会言語学的言語状況 バイリンガルとダイグロシア ビジンとクレオール 言語とアイデンティティ 言語計画 <後期> 言語変種の地域差、世代差、男女差、階層差 日本語アクセントの平板化 ら抜き言葉 協調の原理 ポライトネス理論と敬意表現 借用語			
[成績評価の方法] 前期、後期終了時に、論述試験を行う。講義中に出すレポートの成績も評価に加える。	[参考文献] その都度、プリントして配布、または指示する。			
[教科書] 『社会言語学への招待』田中春美 著 （ミネルヴァ書房）				